



愛知陸協広報

第46号

平成30年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15 日重ビル2F

電話 (052) 684-7498 ファックス (052) 684-7499

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

この1年

副会長 岡田 武彦

愛知陸協や各地域陸協では、この1年各地で125もの競技会が開催されました。過密日程のなか、競技者目線で大会運営に携わった競技役員、大会を補助員として支えた大学生、高校生、中学生をはじめ大会関係者の方々のご尽力に厚く感謝します。

第49回元旦競歩・長距離競技会は好天に恵まれ、競技者・競技役員とも気持ちを新たに1年をスタートしました。全日本実業団対抗駅伝(群馬)ではトヨタ自動車がV奪回ならずも4年連続トップ3、都道府県対抗女子駅伝(京都)は9年連続入賞の8位と健闘、男子(広島)は18位と駅伝競走の難しさを感じました。2018ウィメンズマラソンでは豊川高校卒業の関根花観選手(日本郵政グループ)、岩出玲亜選手(ドーム)の2名がMGC(マラソングランドチャンピオンシップ:2019年9月)への出場権を獲得。さらに6年連続でウィメンズマラソン出場競技者数のギネス記録を更新しました。犬山ハーフマラソンでは主催者の意向で、高校生の長距離強化策を昨年に続き実施しました。

4月からのトラック&フィールドは各地域の競技会からスタート。国体選考強化普及競技会では参加者数がかつても多く、うれしい反面競技運営に課題が残りました。6月のサロマ湖ウルトラマラソン(100Km)では、風見尚選手(愛三工業)が世界最高記録を樹立しました。

今夏は例年になく40℃を超える超猛暑日もあり、愛知選手権の特に長距離種目の実施時期が検討課題かと思えます。8月の全国高校総体(三重)では、中京大中京の女子が初の総合優勝と目覚ましい活躍がありました。9月には4年サイクル開催の「第7回スペシャルオリムピクス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」を主管しました。好天に恵まれた中、北海道から沖縄までの多くの競技者を迎え、走・跳・投に思いっきりの笑顔が見られて大盛会でした。10月の第34回U20・第12回U18日本選手権では、U20の110mJHと女子棒高跳でU20日本新の誕生、また、110mJHはアジアジュニア新(申請中)でもあります。次年度は広島開催となり、愛知としては1985年に日本ジュニア選抜大会としてスタートした9年間、また日本ジュニア・ユース選手権(2017年からU20・U18)の9年間と、合わせて18年(回)主管したこともあり、少し寂しさもあります。2012年まで名岐駅伝出場の選考会を兼ねていた駅伝カーニバル大会が、今年から公道のレースではありませんが愛知駅伝選手権として新たにスタートします。

先日、陸協事務所がビルの解体により移転することになってその整理の時、昭和34年ころの故林良喬記録委員長時代の日本陸連公認申請書を見つけました。つい懐かしさから林さんに伺った苦労話が見つかりました。申請に当たっては、薄くて扱いにくい紙にカーボン紙を挟み、予選から決勝までの記録を5枚複写で徹夜して書いたとのこと。その後数年して手書きの記録用紙をコピーで申請可となりました。記録整理もコンピュータ化され、2010年には電子データによる申請の試行が始まり、2011年から正式になりました。ちなみに今年は、紙媒体による公認申請は5競技会のみです。近い将来は電子化の普及により、各県のランキングが日本陸連のデータバンクから何時でも見えるようになることを期待しています。



泉谷駿介選手(順天堂大) 110mJH 13.19でアジアジュニア新

U20・U18日本選手権大会9年連続開催に区切り

平成22年から9年にわたって名古屋で開催されてきたこの大会は、来年から3年間広島に場を移します。連続開催の最後となった今年も、数多くの新記録が誕生しました。これまでもラッシュと言っていいほど新記録が誕生してきましたが、今年の110mJHアジアジュニア新記録は最終年を飾るにふさわしい記録でした。(写真は陸連HPより)

専門委員会報告

総務委員会

第34回U20・第12回U18日本陸上競技選手権大会(10月19日～21日)が開催され、U20では日本記録が2個、大会新記録が10個、U18では大会新記録が6個誕生しました。

これもひとえに多くの審判員の方が選手第一に考え競技運営をしていただいた賜物と感謝いたしております。2019年度は、「広島」に会場を移し開催されます。

この大会をもって愛知の2018年トラック&フィールドも終了し、ロードレースへと移行していきます。気持ちを切り替え、「犬山ハーフマラソン」(2月)、「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2019」(3月)に向けての準備に取りかかっていきます。

【愛知陸上競技協会事務所移転】(前号にて予告)

10月25日、次の住所に移転しました。

新住所 〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15
日重ビル2F

電話 052-684-7498 FAX 052-684-7499

なお、旧電話(052-249-4363)およびFAX(052-249-4366)も転送いたします。(水野 隆夫)

競技委員会

愛知開催のU20・U18日本陸上競技選手権大会も今年で一区切りがつかしました。来年から3年間、広島で開催されます。

大会恵まれ、U20の日本新記録が2個また、大会新記録が延べ16個(U20:10個・U18:6個)誕生しました。招待リレーでは中学女子で県中学新記録が出るなど、大変盛り上がった形で締めくくることができました。準備から当日の運営、後片付けまでご協力をいただきありがとうございました。

競技委員会では来年度の競技会日程の調整準備に入ります。日程に従って、県大会や地区大会を編成していきます。特にパロマ瑞穂スタジアムは、Jリーグとの関係の制約や競技者の利便性など多くの条件の中で競技日程を決めていかなければなりません。多くの方々の協力を得て調整を行なっていきます。競技日程の変更や会場の変更をお願いしなければならない大会もあると思われます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

2020年からのパロマ瑞穂スタジアムの改築を見据えて、競技会の精選や競技内容の見直しなども視野に入れ取り組んでいく必要があります。各地域の大会も協力をさせていただくことがあるかもしれませんが、宜しくお願いします。

各競技会におきまして、多くの問題も浮き彫りになってきました。競技場の制約、特に参加者の増加に伴い競技運営が困難になってきました。参加制限や標準記録等の見直しをして、出場競技者がよい記録を出せることと、競技役員にも過重な負担をかけないことなどを考慮していかなければなりません。よい案、ご意見等ありましたらお聞かせください。(榊原 茂)

施設・用器具委員会

1. 検定関係の予定

- (1) 至学館大学一部変更検定(11月上旬)
テイクオーバーゾーンの位置の変更(マーキング、標識
タイル)の修正検定
- (2) 知多運動公園陸上競技場一部変更検定(11月下旬)
テイクオーバーゾーンの位置の変更(マーキング、標識
タイル)の修正検定
- (3) 岡崎陸上競技場新設第3種公認基本設計図面指導
(日本陸連11月下旬)
- (4) 名古屋ウィメンズコース一部変更検定
(1月13・14日)
道路工事終了と道路工事開始の2カ所があり、20km～
30km区間の計測をする。
道路コース計測員: 菊込(A級) 桑原(B級) 平川(C
級)、愛知陸協: 青木検定員・南技術役員、砂子間・田
中・吉越施設用器具委員、マラソン事務局
- (5) ウェーブスタジアム刈谷第3種公認継続検定
(1月下旬)
- (6) パロマ瑞穂スタジアム第1種・クラス2公認継続検定
(3月上旬)
- (7) 豊橋市営陸上競技場第3種公認継続検定事前指導
(3月中旬)
- (8) 一宮第3種公認継続検定(3月下旬)

2. アジア大会に向けて瑞穂公園陸上競技場改築について

- (1) 経過報告

2016. 9.30	愛知陸協内検討会(国分、外山、岡田、稲垣、青木、榊原、小森)
2016.11.18	市教委へ要望口頭申し入れ(稲垣会長、稲垣、青木)
2017. 8. 8	市教委へ要望書申し入れ(稲垣、青木)
2017.11.22	市総務局アジア大会担当部へのお願い(稲垣会長、稲垣、青木)
2017.12. 8	市総務局と市教委部長との意見交換(外山、稲垣、青木)
2018. 7.31	市教委案提示、北競技場での大会開催についての要望書提出(稲垣、青木、榊原)
2018. 8. 2	市教委案意見集約を三重IHとする(東海陸協:外山、岡田、稲垣、青木、榊原)
2018. 8. 9	市教委案からトラック等の図面に寸法が入ったものの説明を受ける(青木)
2018. 8.28	市教委案に愛知陸協の要望を説明する(青木)
2018. 9.11	北競技場での大会開催についての要望書を教育長に提出(稲垣、青木)
2018. 9.20	北競技場開催についての要望について現地確認(青木・榊原)名古屋市教育委員会
2018. 9.27	日本陸連との打合せ: 日本陸連(高木委員長、関部長、榊田事務局担当) 市教委(長町主幹、佐藤主査、加藤技師) 愛知陸協(青木)
2018. 9.28	北競技場用器具庫増設案提出(青木)
2018.10.10	愛知陸協内第1回検討会開催 * (3)参照
2018.10.20	レク広場・臨時駐車場利用要望の確認(青木)

クラブ紹介④ 大須 AC

私どもの大須ACは公式ドッジボールチーム、大須ギャングスターズ☆の兄弟クラブとして発足した経歴があり、当初はドッジのための体力強化の一環で長距離走とソフトボール投をメインに活動してきました。

その後、保護者のコーチにご尽力を賜り、現在は短距離、長距離、跳躍にそれぞれコーチを配し、総勢 250 名を擁する陸上クラブとなっています。また、幼児の運動能力向上と小学校に通える体力づくりをめざして未就学児のかけっこ、ボール遊びにも力を注いでいます。



各地のマラソン大会で頑張っています

クラブの方針としては競技会での成績はもちろんですが、「スポーツを通して家族の絆づくり」をめざしております。家族揃っての食事の場で親子が楽しく会話をするためにも共通の話題は欠かせません。その家庭内の共通の話題の一つとして陸上があれば心から思っています。「今日はタイムを 0.2 秒短縮できたよ」「お母さんも見ていたよ。いつもより腕が振れていたね。これからも応援に出かけるよ。」そんな心温まる会話こそが子どもの健全な成長に欠かせなくて、今の家庭に欠けている事ではないでしょうか。



X'Mas 駅伝大会

今後も愛知陸上競技協会並びに他のクラブの皆様方のお力をお借りしながら、末永く陸上に携わっていきたく思いますので宜しくお願い致します。(近藤 恭正)

連絡先：名古屋市中区大須 3-9-8 大須 AC

詳細はHPをご覧ください

2018.10.25 名古屋市長への要望についての打合せ（市教委、青木）

2018.11. 2 名古屋市長へ要望書提出（稲垣会長、稲垣、青木）

(2) 11月2日に、名古屋市長室で、河村市長、杉崎教育長、松雄総務局企画調整監、長町スポーツ振興課主幹さん同席で、北競技場の整備を中心にアジア大会に関する事項について要望書をもとに懇談する。市長にご理解をいただいで「パラリンピックもふまえて何処にも負けないしっかりした施設をつくるように」という言葉をいただきました。今後の教育委員会との話し合いがスムーズにいける期待感が高まりました。



名古屋市長へ要望書を渡す

(3) 10月10日に、第1回検討会で活発な意見をいただきました。その主な意見の抜粋です。(議事録作成者：小田垣) この意見を教育委員会に提示して、今後の話し合いの資料にさせていただきます。

○バックスタンド雨天走路が 80m 程度の直線しかない。倉庫を小さくしたり、第3ゲートをシャッター式にすればカーブまで延長利用でき、130～150mの距離をとることが可能。雨天時や冬場の強化練習会に活用で

きる。

○可動式の座席の設置には競技運営上反対である。

○可動式座席は必要ない。静岡県のエコパ競技場にもあるが、座席を稼働させるだけで大きな手間となり、現在はほとんど使用されていない。維持費も高額と聞いている。

○選手が移動するダッグアウトがない。選手の動線が確保されておらず、競技中に競技場内を移動しては見栄えも悪く、安全性も確保できない。アジア大会を実施する上で必要である。

○市の担当者はどのようなコンセプトをもっているのか。アジア大会だけに使用する場所ではなく後々に残る施設としてどのように考えているのか。

○名古屋市に担当者にこちらの意見が通らないようであれば、新聞やテレビ等のメディアを利用して、市民に情報を開示し、そこから多くの意見が出てくるような状況をつくったらどうか。

○アジア大会に向けた北陸上競技場と関連付けはないのか。サブ競技場として併せて考えていかないとアジア大会は成功させられない。

○瑞穂公園の配置は変わらないのか。本競技場と北競技場（サブ競技場）までが遠い。

○山崎川の上や北側の道路までスタジアムを拡張するとスペースができるのではないのか。アジア大会が終わっても市民が使える、また使いやすい施設を作してほしい。

○現在の地下駐車場をそのまま雨天練習場として整備できないか。現状、雨天対策、暑さ対策は必須である。地下駐車場にオールウェザーのゴムを貼り、エアコンをつけてはどうか。駐車場は現在のテニスコートに移転してはどうか。

○スタンドの中二階を周回コースにし、常に開放するこ

とで市民がジョギングやウォーキングに利用できる場としてはどうか。

- 陸協としての意見はいつまでなら検討可能なのか。
→18年度内と考えている。
→他の競技場の様子も聞きながら、良いところを踏襲し、使い勝手の悪い部分は指摘していけばよいものができるのではないかと。また担当者に現場を見せてどのように使っているのか、使用上の問題点を見せることもしてみてもどうか。
- 走幅跳、走高跳、棒高跳のピットの位置、本数については、アジア大会だけに使うものではなく、通常の競技を運営しやすい施設にしないと負の遺産となる。
- 瑞穂を国立競技場化する考えはないのか。
- 跳躍ピットの砂場をずらす案は、アジア大会だけならよいが、通常の競技会では手間がかかる。棒高跳のピットをトラック内につくり、マットの位置をずらすと、コーチから選手が見えないとクレームがきた。条件も変わってくる。走幅跳はセレモニーとの関連もありメインでやらず、バックで実施する傾向にある。
- 屋根の形状については風を考慮して設計しないと、風が予測不能となり、記録に影響する。
- スタジアムの外観についての考えはないのか。現在の国立競技場のようにデザイナーを入れると外観もよくなるのではないかと。
- エコパや三重の競技場は1階に市民のためにトレーニングルームを作っている。アジア大会中は部屋として利用し、その後、トレーニングジムのかたちになれば市民も使いやすくなる。
- 競技団体（陸協やサッカー）の事務所を競技場内に設置できるとよい。

(青木 実)

審判委員会

パロマ瑞穂スタジアムでの開催が今年度で最後となる、「U20・U18日本陸上競技選手権大会」は、昨年の台風下での実施とは違って変わり、前日練習会を含め好天の中での実施となりました。日本記録をはじめ多くの大会記録も誕生しました。

審判委員会は、昨年同様3ヶ月前の8月から準備計画作成を始めました。大会の準備はほぼ計画どおり順調に進みました。審判員も愛知陸協のみの審判員数で、1日目262名・2日目300名・3日目288名と、延べ総数850名の方の協力を得ることができました。また、補助員数は、1日目149名・2日目228名・3日目230名と、延べ総数607名でした。審判員及び補助員の皆様のご協力で紙面ではありませんが、改めて感謝いたし、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

次に、今年度の後期審判出席調査を800名の審判員の皆を対象に、7月25日に実施しました。現時点で約8割の方々から回答をいただいています。回答率だけを見ますと昨年に比べ大幅に増えました。おかげをもちましてどの大会も昨年を上回る出席希望者数となっています。皆様のご協力に感謝いたします。一方で出席希望が多く、お断りした大会もあります。紙面を持ちましてお詫びいたします。

しかし、ウィメンズマラソンはほぼ昨年と同数の方から

出席との回答をいただいています。まだまだ必要人数に達していません。大会までの残りの期間において、一人でも多くの方に協力いただけるよう、何らかの働きかけをしていきたいと考えています。皆様におかれましても、参加協力の呼びかけを行なっていただけましたら、幸いに存じます。

今年度もまだ、多くの大会を残しています。今後ともご協力をお願いいたします。
(櫻井 一美)

選手強化委員会

第73回国民体育大会（福井しあわせ元気国体2018）愛知県陸上競技選手団の派遣につきまして、格別のご配慮をいただき関係者一同深く感謝申し上げます。

今大会の結果は、全31種目のエントリーのうち、16種目において入賞を果たしました。その中でも、少年男子A走幅跳に出場した中野 裕仁 選手（名城大附高）の第2位をはじめ、少年男子A棒高跳では榊原 圭悟 選手（岡崎城西高）が3位、成年男子100mでは長田 拓也 選手（富士通）が4位と上位入賞を果たしました。そして、今大会に出場した2名の中学生も奮闘しました。中学3年生と高校1年生が出場する少年女子B 100mYHでは松本 佳音彩 選手（上社中）が全国中学総体優勝者の意地を見せて4位に入賞し、青山 理奈 選手（御幸山中）も高校3年生までが出場可能な少年女子共通800mにおいて8位に入賞しました。高校生に交じって入賞を果たした二人には来年度以降のさらなる飛躍が期待されます。

今大会は選手達の自分自身のプライドと愛知県のために入賞したいという選手達の思いを強く感じた大会でした。少年男子共通800mの鳥居 風樹 選手（中京大中京高）は予選で脚を負傷するアクシデントに見舞われました。チームとして決勝レースの欠場を薦めましたが、本人の強い希望で決勝のスタートラインに立ちました。結果は8位でしたが、本人の勇姿にスタッフ全員の目頭が熱くなりました。また少年男子A 400mHの伊奈 颯太 選手（豊川高）も決勝レースの最終ハードルで転倒してしまいましたが、それでも最後まで走り切りました。6月に行なわれた日本選手権で入賞した成年男子400mHの真野 悠太郎 選手（名古屋大）、成年女子走高跳の中西 美早 選手（日女体大）、成年女子円盤投の川口 紅音 選手（日体大）も意地の入賞を果たしました。それに続くように全国高校総体の女子総体で優勝した中京大中京高校の 安達 楓恋 選手（少年女子A 100mH）と平松 紗季 選手（少年女子共通三段跳）は安定感のある走りや跳躍で入賞しました。成年女子棒高跳の塩崎 泉 選手（至学館高）、少年男子Aやり投の藤井瑞樹選手（名古屋大谷高）、少年女子共通やり投の石垣綾香選手



選手・スタッフが勢揃いした国体選手団

(半田高)、少年男子B 3000mの小林亮太選手(豊川高)は大会前のランキングを覆し、入賞を勝ち取りました。

陸上競技全体の総合成績は怪我による直前の選手変更も相次ぎ、結果的に天皇杯(男女総合)17位(52.5点)、皇后杯(女子総合)17位(29.5点)と昨年度の成績には及びませんでした。しかし、選手一人ひとりが愛知県のために持てる力を十分に発揮しました。残念ながら入賞できなかった選手もスタンドで大声を出して応援し、出場選手を献身的にサポートするなど、愛知県の代表選手としてのプライド、愛知県への愛が強く感じられる大会となりました。選手達の思いは来年度以降の『チーム愛知』に引き継がれていくことでしょう。

最後になりますが、今後も本県全体の陸上競技の競技力向上と普及・発展を目標に、強化活動を推し進めていきたいと考えます。更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(明星 光信)

記録・情報処理委員会

トラックシーズンを終えて

今年のU20・U18日本選手権大会は天候に恵まれ、また例年にも増して役員・補助員の皆様のご協力によって、競技者の方々が競技に集中できる環境となりました。2つのU20日本新記録と昨年以上の16の大会新記録が達成されました。その中で、U20男子110mJHに出場された泉谷俊介選手(順天堂大)の13.19はU20アジア記録として現在、国際陸連に申請中です。愛知での開催が9年目になり、一区切りとなりますが、これまでの本大会へのご協力に感謝します。

今大会のように、記録を国際陸連へ申請する場合、プログラムの名前にローマ字表記が必要になります。愛知におきましても、大会によっては名前の表記にローマ字をお願いする場合があります。ご協力をお願いします。また、大会に陸連未登録の競技者が混じっていると、大会全体の記録公認がとれなくなる恐れがあります。申し込みの際して、学年・生年月日の入力とともに、申込みファイルに日本陸連のID記入欄がある場合は、必ず記載をお願いします。また、今シーズンの申込みで、ハードルの規格、特に間隔についての問合せが何件かありました。正確な申込み・申請のためには、ハードルや投擲など器具の規格のデータの記載が必要です。要項に100mH(76.2cm_8.0m)のように記載をお願いします。

2018年7月7日から10月31日まで、日本陸連のデータベースで確認できた県新記録。

《愛知新記録》

男子

10000mW	39.45.92	山西 利和(愛知製鋼)	
		[第73回国民体育大会(福井県営)	10/7]
マラソン	2.07.57	藤本 拓(トヨタ自動車)	
		[ChicagoMarathon/USA	10/7]

《愛知高校新記録》

女子

棒高跳	3.90	塩崎 泉(至学館)	
		[東海選手権(草薙)	8/25]

※タイ記録

男子

棒高跳	5.10	榑原 圭悟(岡崎城西)	
		[第78回愛知選手権(瑞穂)	7/15]
		(石鎚 一則)	

女性委員会

今年度のトラックシーズンも終了し、ロードのシーズンとなりました。例年お願いしておりますが、3月には名古屋ウィメンズマラソンが開催されます。一人でも多くの女性に大会役員として力を貸していただけることを願っております。よろしくをお願いします。

広報45号で少しふれましたが、7月の県レディース陸上競技大会に長野陸協女性委員会の4名の皆様が視察にみえました。このきっかけとなったのは、1月のJAAF主催の「女性指導者の為のコーチングクリニック」でした。様々な話をしている中で、「愛知県レディース陸上大会に足を運びたい。」という声を実現したものでした。大会をいろいろな場面から見ていただいたのはもちろんですが、たくさんの長野県の活動のお話を聞かせていただくことができ、私たち女性委員会にも学ぶことが多い日となりました。その中でも女性審判員の不足ということは共通の課題点でした。女性は、審判資格取得後も出産・主婦・介護等、様々な家庭問題の壁があり、なかなか思うように審判ができなくなる状況があります。7月に女性委員会を行ない、この問題にも時間をかけて話すこととなりました。課題が多くなかなか前に進むことは難しい状態ではありますが、1歩前に進める活動ができたらと思います。ご協力よろしくをお願いします。(谷崎 好美)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

トラックシーズンをほぼ終えて

名古屋地区は4/7・8の第1回名古屋地区陸上から始まった。今年も昨年同様参加者が多く、予想以上に運営面で苦労した。特に6/9・10の愛知県選手権名古屋地区予選は4000人を超える参加者があり、男子100mは141組、男子1500mは24組、走幅跳は同時に3ピットで競技することになるなど、審判の配置を含め競技運営にも多くの課題が残った。8月には三重県伊勢市でインターハイが行なわれ、女子では中京大中京が総合優勝を飾った。また、岡山では全中が行なわれた。地区からの参加選手の主な成績は以下のとおりであった。

三重インターハイ

男子

800m	鳥居 風樹(中京大中京)	1.50.86	3位
1500m	中倉 啓敦(愛知)	3.50.37	8位
走幅跳	中野 裕仁(名城大附)	7.63	3位
棒高跳	増田 智也(中京大中京)	4.80	7位
やり投	藤井 瑞樹(名古屋大谷)	60.79	7位

女子

200m	井戸アビゲイル風果(至学館)	24.51	8位
------	----------------	-------	----

学校訪問③⑥ 上郷中学校 女子4×100mR 全日中優勝

今回は前年までの顧問の儀部 慶先生(2年前に800mで日本中学新を出した馬場勇一郎選手を育成)の悲願を引き継いで、今年度の全中で女子4×100mRを制した上郷中学校(豊田市)を訪問しました。リレーで全中を制するには、走者4人の総合力が課題となります。そして、その4人を生み出す背景にある部全体の力量が問われることとなります。実際、上郷中学校は夏の県中総体の女子の部で総合3位に入賞しています。部全体の力が、リレーでの全国制覇を成し遂げさせたのだらうと考えた私は、まだ3年生がジュニアオリンピックを控えて部に残っていた10月初旬の平日に学校を訪問しました。

電車の乗り継ぎを間違えて約束の時間に少々遅れて学校に到着した時には、既に練習の準備が始まっていました。走高跳のマットの搬出やハードルの準備と部員たちが動いていたのですが、顧問の佐藤圭介先生からの指示の声は一切ありませんでした。後で詳しく触れますが、短時間で効率よく部活を行なうにはどうしたらよいかを部員一人ひとりがよく分かっているからでしょう。協力し合って準備をしている中には、部員どうしの仲のよさも見とれました。メインの活動以外のこうした場面に見受けられるものも、強さの秘訣だと思えます。



笑顔のミーティング

準備が終わって整列し佐藤先生と部員たちが挨拶をすることとなったのですが部員たちはみな笑顔、笑顔。何とも明るい雰囲気でした。定期考査が終わって成績表が渡されたその日だったということもあって、佐藤先生はそのことに触れながら話を始められたのですが、先生のお人柄なのでしょう、生徒の笑顔がどんどん広がっていきました。私は、顧問の先生と部員の距離が近く、部員たちは常日頃伸び伸びと部活を楽しんでいるのだらうと感じました。そのことが部の活力を生み、更には好記録も生んだのでしょうか。

練習の始まりの時には、指導者の側にもう二人の方がみえました。一人は、副顧問の関 沙織先生です。関先生ご自身は陸上競技の経験がないようですが、佐藤先生によると、私以上に的確なアドバイスをしてくれるので助かっているとのことでした。またこんなこともおっしゃっていました。棒高跳の選手の中に高さへの恐怖からうまく跳べなくなってしまう選手がいるのですが、関先生に見てもらっている時には跳べてしまうのだと。練習中に部員たちを見ている関先生の様子からは、さぞかし部員たちの心の支えになっているのだらうと私にも思われました。もう一人は、信田雄一郎さんです。ボランティアで毎日のように指導に携わっておられる方です。この日は現役時代主に取り組んでおられたというハードル陣の指導にあたっておられました。佐藤先生によると、全国大会にも帯同してくださるし、部活通信も発行して下さり大きな力となっているとのことでした。その部活通信は、今年度既に13号を数えているのだそうです。

3人の力で部員たちの力が引き上げられたのだらうと思っておりましたら、それは間違いでした。お二人以外にも佐藤先生をサポートしている方がもうお二人あるのだそうです。一人は、前の45号で紹介した上郷JACの主宰者の有我真吾さんです。この日はお会いできませんでしたが、週に2日ほど指導にあたっておられるとのことでした。十数年継続して上郷中陸上部に関わっておられるとのこと、佐藤先生は顧問が転勤して交代しても上郷中には一貫した指導が継続されてきたのではないかとおっしゃっていました。もう一人は、中長距離グループのある部員のおじいさんで、中長距離に造詣の深い方だそうです。部員を通じて練習メニューなどにアドバイスをもらっているとのことでした。後日佐藤先生と大学の同級生だった人と同じ部署で競技会の審判をしたのですが、その人はこんなことを言っていました。「そうやって人が集まってくるのは、圭ちゃんの人柄ですよ」と。先ほど部全体の力と書きましたが、指導者全体の力が、部員たちの力を引き出したのだらうと私は思いました。



密度の濃い練習の一コマ

全国制覇を成し遂げたのですから、さぞかしきつい練習をしているのだらうと思っていたのですが、それも間違いでした。練習開始は3時45分。終了は5時。5時と書いたのは正確ではありません。5時完全下校なのです。毎日の練習時間は1時間を少々超えるだけなのです。更に驚いたことは、近々冬時間になってもっと練習時間が短くなるというお話です。翌日の土曜日に近くの柳川瀬公園での練習があることが最後のミーティングで伝えられていました。ここでの練習はウイークデイよりも長い時間となって不足分を補うことになるのでしょうか、それにしても日々の練習時間の短いことには驚かされました。よく全国制覇ができたものです。確かに練習時間帯はよどみなく、ロスなく時間が流れておりましたが、この集中度が、強さの秘訣の一つなのでしょう。驚きは、更に続きました。教員の働き方改革の先端をゆく豊田市にある上郷中学校は、熱中症対策のこともあって全くと言っていいほど夏休みに全体での練習ができなかったのだそうです。佐藤先生は、試合にピークを合わせることにどれだけ苦心したことかとおっしゃっていました。その影響だったのでしょうか。全中の優勝タイムが47.83で、県中総体の47.67よりも少々落ちたのは。

その後上郷中学校の人たちとはもう一度U20・U18の招待リレーでお会いすることになったのですが、ここでまた47.65の県中学新記録を誕生させました。この記録は、中学校女子の単独チームとして歴代2位のものだそうです。地区の新人戦では、下の学年の人たちが既に50.74の記録を出しているとのこと。伝統は受け継がれています。これからも、上郷中学校の活躍からは目を離すことができないでしょう。



協力し合って準備



細やかな個人指導

(取材・文責・写真 大西敏功)

800m	細井 衿菜 (中京大中京)	2.08.04	2位
100mH	安達 楓恋 (中京大中京)	13.64	2位
5000mW	上森 佳代 (桜花学園)	24.14.09	8位
4×100mR	至学館 (大城・安藤・田中・井戸)	46.16	6位
4×400mR	中京大中京 (山田・生田・三輪・細井)	3.46.68	5位
棒高跳	塩崎 泉 (至学館)	3.80	3位
やり投	石垣 綾香 (半田)	46.70	6位

岡山全中

男子

110mH	高橋 遼将 (柏原)	14.22	5位
四種競技	西 徹朗 (猪高)	2683	6位

女子

200m	大矢 琴子 (春日井中部)	25.43	7位
800m	青山 理奈 (御幸山)	2.11.55	3位
100mH	松本佳音彩 (上社)	13.79	優勝

また、名古屋地区からこの大会に柏原裕士先生(藤森中)濱崎佳菜先生(大府北中)の若手コーチ2名が派遣された。

10月には名古屋地区選手権が実施され、県選手権名古屋地区予選に準ずる多数の参加があったが150名を超える審判によって無事終了した。その他、レクリエーション広場では、田辺陸上競技場の機能を移転させて投てき競技の練習が可能となる工事が12月まで行なわれる。2019年度から使用できる見通しとなった。(砂子間英明)

尾張陸上競技協会

今年度のトラックシーズンは、愛知県一宮総合運動場陸上競技場(いちい信金スポーツセンター陸上競技場)の更新工事にともない、9月に終わりました。

8月に変更して実施した第65回尾張陸上競技選手権大会は、2日目の午後から悪天候に見舞われ中止となり、決勝種目ができず多くの競技者にご迷惑をおかけしました。

全国大会関係は、福井国体に、成年男子やり投に坂本達哉選手(一宮南高→大阪体育大)が出場、成年男子400mHに真野悠太郎選手(滝高→名古屋大)が8位入賞、また成年女子円盤投では、日本選手権でも7位入賞(前号未掲載)と活躍した川口紅音選手(津島高→日本体育大)も8位に入賞しました。岡山全中では、男子走高跳で8位に入賞した今井 駆選手(古知野)をはじめ8人が出場、第49回ジュニアオリンピックでは、C女子走幅跳で渡辺実優花選手(木曾川中)が8位に入賞しました。全国小学生陸上競技交流大会では、杉藤 葵選手(AC一宮K)が女子80mHでB決勝まで進出しました。来年度も多くの選手が全国で活躍することを期待しています。

尾張陸上競技選手権大会新・尾張新樹立者

	種目	氏名	所属	記録	備考
男子	100m	児島 大樹	愛知陸協	10.53	大会新
	400mR	佐久間光平 松久 裕稀 若山 弘幸 山田 佑輔	東海学園大	41.41	尾張新
	やり投	藤垣 諒	至学館大	68.33	大会新
女子	円盤投	川口 紅音	日本体育大	45.96	尾張新

全日本中学陸上競技選手権大会出場選手

男子	400m	高田圭士郎 (古知野)
	800m	高嶋 荘太 (弥富)
	走高跳	今井 駆 (古知野)
		西田 和哉 (岩倉)
		安井 竣亮 (佐織西)
女子	100mH	坂井 寿々 (甚目寺)
	走幅跳	柴田 菜那 (岩倉南部)
	砲丸投	日高 千鶴 (一宮北部)

ジュニアオリンピック出場選手

男子A	走高跳	今井 駆 (古知野中)
女子C	走幅跳	渡辺実優花 (木曾川中)
	A 砲丸投	宮川 萌花 (尾西第三中)

続いて今回も尾張陸協の運営上の工夫を紹介します。今年の夏は殊の外暑いものでした。各地区で熱中症対策に苦慮されたことと思います。知多・尾張1年生大会で、予選・決勝を取りやめて全てのトラックレースをタイムレース決勝に変更したのは、その一例です。尾張陸協でも8月の二つの大会で熱中症対策を実施しました。スタンド備え付けのエレベーター前と競技者係の招集場所近くに設置された大型扇風機と手洗い場付近のミストは、すでに施設運営側の熱中症対策として存在していました。それに加えて、フィールド競技者待機場所テントに工夫をしました。日光を遮蔽する幕を取り付けたのです。写真は走高跳の選手の待機場所のテントのものです。他に棒高跳、投てきの3カ所に設置しました。日光を遮るばかりでなく、待機場所が広がり余裕が生まれました。今後暑い時期の競技会では、遮蔽幕を活用し大会運営を円滑なものにしていきたいと思っています。



季節はロード・駅伝シーズンになります。例年、審判員不足に悩んでおります。何卒、ご協力のほど、宜しくお願いします。(青山 充資)

西三河陸上競技協会

アジア大会

男子	棒高跳	優勝	山本 聖途 (トヨタ自動車)
	十種競技	3位	中村 明彦 (スズキ浜松 AC)

アジアパラリンピック大会

男子	400m	4位	石田 正太 (大興運輸)
女子	1500m	2位	山本萌恵子 (光ヶ丘女高職員)

全国高校総体

男子	棒高跳	4位	榊原 圭悟 (岡崎城西)
	ハンマー投	6位	佐々木秀斗 (安城学園)

女子 3000m 8位 藤中 佑美(光ヶ丘女子)
走高跳 2位 小笠原早矢楓(安城学園)

全日本中学

女子 4×100mR 優勝 上郷
(曾我日葵・久野香奈・沖 美月・倉橋美穂)

日本インカレ

男子 走高跳 2位 水谷 来(中京大)
棒高跳 6位 鈴木 康太(日体大院)
女子 走高跳 4位 中西 美早(日女体大)
100mH 6位 小林紗矢香(愛教大)

国民体育大会

男子 棒高跳 3位 榊原 圭悟(岡崎城西高)
女子 走高跳 6位 中西 美早(日女体大)

連日の猛暑に襲われた今年の夏でしたが、上記に紹介したように西三河地区の中学・高校・大学・一般とすばらしい活躍を見せてくれました。そして、トラックシーズンがほぼ終わった現在、すでに来年度の競技会日程や競技場の確保へ向けて交渉を進めています。本年度の猛暑の影響もあり、夏場の競技日程や競技種目なども検討しています。

さて、2020年7月のオープンをめざしている「岡崎市龍北総合運動場(陸上競技場)」ですが、10月1日に基本設計が公表されました。19年3月より工事が着工され、20年6月に完成する予定になっています。全天候型ゴムチップウレタン系舗装、400m×8レーン(直走路9レーン)のトラック、そしてインフィールドに天然芝フィールドを有する陸上競技場が、岡崎市に誕生することになります。なおメインスタンドは3階建ての構造になっており、全体の収容人数はメインスタンドの1,001人を含め、5,000人の収容ができます。

本年度の大会においては、ウォーミングアップや競技中に救急搬送されるような事故も起こっていますが、来年度は、参加者及び参加校・参加団体に事故防止策を周知徹底していきたいと考えています。

今後駅伝シーズンを迎えますが、それぞれの部門での活躍を期待するとともに、今年度のトラックシーズンの競技運営にご協力いただいた審判員の皆さまに感謝申し上げます。(太田 一弘)

東三河陸上競技協会

今年の東三河陸上界での最大の話題は、豊橋市陸上競技場のスタンドの改修工事が終わり、リニューアルオープンした競技場でのトラック競技が再開されたことです。

アスリートファーストをコンセプトに、最新のトレーニングマシンを取り入れたコンディショニングルームや100m 3レーンの屋内練習走路と約550mのクロスカントリーコースを作りました。これらの施設をしっかりと活用して、東三河の小中高校生が今年も例年以上に活躍してくれました。

まず高等学校では、三重で8月2日～7日に行なわれた全国高等学校総合体育大会に、4校からリレー3チームと個人13名が出場を果たしました。そして、柳本匡哉選手

(豊川)が男子1500mで4位、相場里咲選手(豊橋南)が女子800mで8位に入賞しました。また、愛知で10月19日～21日に行なわれたU20日本選手権で、伊奈颯太選手(豊川)が男子400mHで優勝しました。

中学校では、岡山で8月18日～21日に行なわれた全日本中学校陸上競技選手権大会に、6校から11名が出場を果たしました。そして、吉井駿恭選手(田原東部)が男子1500mで優勝・3000mで2位、奥平恵見歩選手(豊川東部)が女子走高跳で2位に入賞しました。また、神奈川で10月12日～14日に行なわれたジュニアオリンピック陸上競技大会では、吉井選手がA男子3000mで優勝、奥平選手が女子走高跳で3位に入賞しました。

小学校では、神奈川で8月18日に行なわれた全国小学生陸上競技交流大会に、田原陸上クラブと豊橋陸上クラブ、JACあつみからリレー1チームと個人2名が出場を果たしました。そして、田原陸上クラブが女子4×100mRで優勝、加藤愛菜選手(豊橋陸上ク)が6年女子100mで4位、鬼頭孝征選手(JACあつみ)が男子ジャベリックボール投で8位に入賞しました。

この勢いそのままに、駅伝やロードレースでも東三河の選手の活躍を楽しみにしています。(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会

日清食品カップ第34回全国小学生陸上競技交流大会 男子

種目	選手名	チーム名	記録
5年100m	水野 賢仁	なごや陸上クラブ	13.20 (A決勝3位)
6年100m	久野 聡	上郷JAC	12.65 (B決勝4位)
80mH	鈴木琥太郎	TSM	12.61 (B決勝4位)
4×100mR	平林 駿登	安城JAC	52.83 (C決勝3位)
	百崎 蒼太		
	丹羽 咲弥		
	近藤 淳貴		
走高跳	佐々木 哲	TSM	1.30 (29位)
走幅跳	梶山 泰輔	愛知ハイテクAC	4.76 (15位)
ジャベリックボール投	鬼頭 孝征	JACあつみ	57.25 (8位)
友好100m	山崎 鉄馬	安城JAC	14.19

女子

種目	選手名	チーム名	記録
5年100m	三輪 琉姫	トライルAC	14.65
6年100m	加藤 愛菜	豊橋陸上クラブ	13.50 (A決勝4位)
80mH	杉藤 葵	AC一宮K	12.60 (B決勝1位)
4×100mR	眞田 あこ	田原陸上クラブ	51.78 (A決勝1位)
	高津 彩里		
	渡辺 栞夏		
	佐藤 侗有		

走高跳	野畑 那月	TFC半田	1.30 (9位)
走幅跳	水野文由里	TSM	4.37 (12位)
ジャベリックボール投	中村 文香	TSM	49.99 (4位)
友好 100m	花井 愛唯	田原陸上クラブ	14.24

2018年8月18日(土)日産スタジアムにて、日清食品カップ第34回全国小学生陸上競技交流大会が行なわれました。

当日は競技会中の平均気温が27.1℃と、今夏の暑さを忘れさせるくらいの絶好のコンディションとなりました。多くの応援の方々や各所属の指導者、愛知県選手団が一丸となって選手を後押ししました。全14種目中各県代表の47名中24位までに12種目で入ることができ、愛知県の競技力の高さが表れた結果となりました。愛知県内の各所属団体の指導者のご尽力と各陸上競技団体のお力添えの賜物と、関係団体に感謝申し上げます。

前日(17日)は、カップヌードルミュージアムを見学し、世界で一つのオリジナルのカップヌードル作りに取り組みました。自分だけの「創造的思考を見つける」をキーワードに、創業者の精神にふれることができました。

移動中は、みんなでゲームや談笑をしながら和気あいあいと過ごし、当日はみんなのために応援したり、大会に臨んだり、愛知県選手団として意識高く行動することができました。

将来を担う陸上界のホープたちを今後も応援よろしくお願いします。



愛知県選手団



日清食品グループの選手たちと



男子5年100m 3位 水野君



女子ジャベリックボール投げ 中村さん

(佐々木博幸)

中小体連

○全日本中学校陸上競技選手権大会(8/18~21 岡山)

今年度の愛知県からの出場者数は、77名(リレーを含め延べ90名)となり、過去最高の出場者数となりました。都道府県別では、5番目の出場者数になります。

今年の大会の成績としては、1500mで田原東部の吉居駿恭君が優勝、3000mでは第2位、女子ハードルにおいて上社の松本佳音彩さんが優勝、上郷が女子4×100mRで優勝。御幸山の青山里奈さんが800mで第3位に入賞しました。その他にも愛知の選手の活躍が目される場面が多くありました。

成果の背景には、選手の努力、日々指導されている先生方の熱意と指導力、選手のご家族の支えによる所が最も大

きな要因であることは言うまでもありません。また、各地区での小中学生の強化普及活動が結果となって表れてきているのではと感じます。

中体連陸上競技部としては、これからも小学校や高校などの他のカテゴリーとの連携とつながりを大切にし、より多くの選手が全国大会に出場し活躍できる下支えをしたいと強く感じております。

○平成31年は1月5・6日に「日本陸連U16東海ブロック合宿」を昨年に引き続き本県で実施します。東海4県のトップ選手160名をお迎えし、米年度に向けて本格的に始動します。様々な場面で関係各位にお支えいただくことになるとは思いますが、引き続きよろしくお願いたします。

○平成31年の全中大会(大阪)での参加標準記録の引き上げは検討されていませんが、開催期間が現在の3日から、3日半に変更となる見込みです。開会式を例年より早めの時間に実施し、その後から競技を開始していくとのことです。正式には年度末の日本中体連理事会において決定されます。

○例年、日産スタジアムで行なわれてきたジュニアオリンピックですが、ラグビーワールドカップの関係上、米年度は等々力陸上競技場(神奈川)で行なわれることになりました。2020年以降の開催地については未定となっております。

(佐橋 弘晃)

高体連

平成30年度これまでの大会を総括して

本年度は地元東海地区の三重県で全国総体が開催されました。総勢152名という、過去最多の一昨年、昨年に近い参加者数で臨むことができました。ここ数年単独の北海道を除けば、全国でも1・2位を争う有数の参加者数です。その中で、本年度は残念ながら個人種目の全国チャンピオンを出すことはできませんでした。しかし、中京大中京高校女子が念願の学校対抗総合優勝を成し遂げてくれました。男子の総合優勝は過去にもありましたが、女子は初優勝でした。ご指導にあられた先生方、最後まであきらめずに精一杯頑張った選手の皆さんを心から称賛します。総入賞者数は男子が8種目、女子が13種目でした。

全体としてはあまり目立ちませんでしたが、着実に入賞数を確保することができました。委員長としては少し物足りない面もありましたが、充実した5日間でした。名古屋では観測史上初の40度超えの猛暑を記録した8月でしたが、三重県伊勢市も大変な酷暑で、その中でも選手の皆さんはよく頑張ってくれました。競技役員も体調を崩すような環境の中での大会でした。ある意味で今後語り継がれる大会であったと思います。

県高校新人大会が、台風の影響で最終日が短縮タイムテーブルで実施されました。また、暴風警報発令により途中中止となりました。藤原照明部長のご尽力により、翌週の火曜日に平日開催をしていただき、東海大会出場選手を決定することができました。皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。

U20日本選手権では、安城学園高校の小笠原選手が女

子走高跳で昨年のU18に引き続いて優勝しました。全国総体2位の悔しさを晴らしてくれました。U18日本選手権では男子800mで中京大中京高校の馬場選手が優勝しました。昨年度の鳥井君に続いての優勝でした。来年度の沖繩総体での活躍が非常に楽しみです。その他にも多くの入賞者が出ました。U18世代の活躍が多数ありましたので、来年度に向けて大いなる期待が持てました。

東海新人大会は静岡エコパスタジアムがラグビーワールドカップの影響で使用できなかったため、草薙陸上競技場にて開催されました。強い向い風の影響で直線種目はバックストレートで実施をしていただいたこともあり、好記録が生まれました。気温が低くけがの心配もされましたが、選手は大いに活躍してくれました。来年の総体に向けて、良い結果が出せたと考えます。各学校でしっかりと来季につなげていただきたいと思います。

愛知県高校駅伝も皆さま方のご協力のもと、男子は参加79校の頂点に豊川高校が立ちました。終始安定したレースを展開し、最後は独走での優勝でした。女子も豊川高校が優勝し、昨年度の雪辱を果たして都大路の全国大会への切符を手に入れました。序盤は光ヶ丘女子高校がリードを保ちましたが、最終区で光ヶ丘女子高校を逆転しました。両校ともに内容のあるレースであったと思います。参加校数は62校でした。豊川高校には愛知県のナンバーカード「22」で全国優勝をめざし、活躍されることを大いに期待します。

また、本年度は女子の記念大会です。しかも地元愛知で東海大会が開催されます。地の利を生かし、東海大会に出場する女子の代表校には、地区代表枠を勝ち取っていただきたいと強く願います。

運営については、道路使用について多くのご指摘を受けました。安全管理についての意識を強く考えなければなら

ない大会となりました。万全の準備を済ませ、大会運営に臨みましたが、行き届かないところも多々ありました。今後もこのコースで大会を継続させていただきたいと考えていますので、各方面としっかり情報の共有をさせていただき、大会運営をしていきたいと思ひます。知多市、知多警察署、知多市教育委員会、知多三四会をはじめ、多くの皆様のご協力に心から感謝をいたします。

来年度の全国総体は沖繩県で行なわれます。個人種目でのチャンピオンの誕生と多くの入賞者、出場者をめざし、陸協強化委員会とも協力しながら努力をしていきたいと思ひます。大会結果等は競技会結果報告をご参照ください。

(石井 哲郎)

高体連定通部

全国高等学校定通制陸上 男女総合4連覇! ~接戦を制す~

おかげさまで4年連続23回目の男女総合優勝を果たせました。総合優勝争いは、初日から最終日の途中まで兵庫県の後を追う展開となり、兵庫県が順当に結果を残すと最終日での逆転が難しくなることも予想されました。監督として4度目の全国大会でしたが、これほどまでに強く「勝ちたい!」と思ったことは初めてでした。「選手、監督、応援…すべての人がチーム愛知。明日は、勝ちたい思いが強いチームの方が勝つ!」そんな当たり前の言葉に答えるように最終日の愛知県チームは上位入賞だけでなく、しぶとく下位入賞も積み重ねた結果、見事に兵庫県を逆転。11点差で優勝をつかみ取りました。

個人では女子100m・200mで2冠を達成した齋藤美佳選手(科技高刈谷3)が女子最優秀選手賞を獲得。両種目とも大会記録更新とはならず、本人は悔しい思いをしたことと思ひますが、愛知県のエースとして大活躍でした。小

ホープさん 39

松本 ^{かのあ} 佳音彩 選手 (TSM・名古屋市立上社中3年)

松本佳音彩さんは、小学校4年生よりTSMで活動しており、器械体操を中心にいろいろなスポーツに取り組んできました。陸上競技では、多岐にわたる種目(短距離・走幅跳・走高跳)に意欲的に挑戦し、競技会や大会で泣いたり笑ったりを繰り返して来ました。

今年度の全国中学校選手権では、100mHで優勝(13"79 +2.1)し、秋の国民体育大会(福井)では、少年女子B100mHに選拔され、4位入賞して愛知に貢献できました。また、先のジュニアオリンピックではA女子100mYHで2位に入賞し、中学校生活の集大成となりました。

ここまで書くと、順調に成績を取ってきたように思われますが、思うような結果が出せず大会で泣いてしまったこともあり。そんな彼女を支えてくれたのは、多くの仲間たちです。「TSM最高!最強世代!」と自分たちで豪語する中学生たちが、いつもお互いを見守り、支え合い、競い合うことができる仲間たちに恵まれていました。記録を更新し大会で活躍していく中でも、おごることなく謙虚に感謝の気持ちを持つことができたのも、支えてくれた仲間たちや見守ってくれご家族がいたからではないかと思ひます。いつもキラキラの笑顔で頑張る彼女ですが、大きな大会になればなるほど、楽しみで仕方ないと言ひます。ドキドキをわくわくに変えることができる…それが彼女の強さの秘密かもしれません。

これからも笑顔いっぱいの彼女がトラックを駆け抜ける姿を想像すると楽しみでなりません。怪我なく成長し、いつか彼女が夢見る舞台上で活躍できることを期待しています。

(TSM 井上主香子)



全中 100mH 優勝



福井国体 4位

林利江選手(愛知黎明3)は、3連覇のかかった800mで調子が上がらず悔しい3位。それでも気持ちを切り換えて挑んだ3000mは、見事に3連覇を達成しました。男子は苦戦を強いられましたが、清水源樹選手(科技高刈谷1)が走高跳で自己記録を更新して優勝。見事に1年生優勝を達成しました。今後の愛知県を引っ張る選手として活躍が期待されます。

さて、ここ数年は1人で複数種目の優勝を果たすスーパーエースが数名おり、その恩恵にあずかって総合優勝を果たしてきたように思います。今年も齋藤選手などがいましたが、やはり選手一人ひとりが大舞台で力を出し切ってコツコツと積み上げた結果で大きな成果をあげました。この接戦を制したことは、今後に向けてとても大きな意味があるとともに大切なことを教えてくれたように思います。

来年に向けた準備は既に始まっています。ミーティングで幾度となく話をした「準備」を選手、スタッフともにしっかりやって来年の全国大会を迎えましょう！



勝利への強い思いが逆転を生みました。ありがとう！

(野口 武則)

学 連

2018トラックシーズンを終えて

2017年は桐生祥秀選手(東洋大卒)の日本人初の100m9秒台や、ユニバーシアード台北大会の開催など、学生陸上界にとってインパクトとイベントで過ぎたシーズンだった。それと比べると2018年のトラックシーズンは、若干物足りない印象だったかもしれないが、先に開催された日本インカレで産声を上げた次世代の選手たちの活躍を紹介する。

今年の日本インカレは、例年以上に中京大学のフィールド種目の活躍が目立った大会であった(表)。前号で紹介した男子三段跳の中山昂平選手に加えて、古旗崇裕選手がハンマー投で優勝。女子では、三段跳で糟谷友里選手、ハンマー投で大久保祥子選手がともに3位の成績を残した。中山選手の跳躍は、助走スピードを生かし、接地時の減速が非常に少ない効率の良い技術が特徴である。インカレでは、1回目にトップに立つと2回目には、自身が持つ16m20の東海学生記録を一気に更新し、16m53で優勝した。

近年、中央集中型の戦力から種目や地域性に特化した勢力図に変化している学生陸上界では、各地区に“得意種目”を持つ大学が増えている。特に女子の競歩では、2014～2017年大会で4連覇を果たした五藤怜奈選手(中部学院大卒)の卒業後も東海地区の選手が活躍した。10000mWでは、橋あぐり選手が優勝、2位に園田世玲奈

選手が入った他、4、5位にも東海勢が入賞。8名の入賞者中、4名が東海地区の選手であった。技術の習熟に時間を要するフィールド種目と同様に、速さに加えて定められた歩型が求められる競歩の種目特性上、今回の結果は、各チームの専門コーチが地道に指導している証であろう。

日本インカレを境に駅伝・ロードレースのシーズンへ上手くシフトしたのは、10月28日(日)に仙台で開催された全日本大学女子駅伝にて2連覇を遂げた2017年大会の覇者、名城大学である。1500mと5000mで高松智美ムセンビ選手が2種目優勝、そして、10000mでは加世田梨花選手も優勝しており、トラックのスピードを上手く駅伝へ対応させたのは、走った選手の力はもちろん、経験値だけではなく科学的な知見を持つ米田勝朗監督のコーチングの成果と考えられる。

表：2018年日本インカレ、東海学連所属選手の入賞者

男子選手名(所属/学年)	種目
野村 勇輝(中京大2)	400m 7位
中京大(若杉、浦井、川端、矢橋)	4×100mR 5位
中京大(祖父江、野村、伊藤、川端)	4×400mR 2位
水谷 来(中京大4)	走高跳 2位
赤松 諒一(岐阜大院4)	走高跳 3位
瀬古 優斗(中京大3)	走高跳 5位
石川 拓磨(中京大3)	棒高跳 3位
中山 昂平(中京大院2年)	三段跳 優勝
戸澤 廣哉(中京大3)	砲丸投 5位
古旗 崇裕(中京大4)	ハンマー投 優勝
水野 佑哉(岐阜経済大4)	やり投 7位
女子選手名(所属/学年)	種目
高松智美ムセンビ(名城大1)	1500m 優勝
	5000m 優勝
加世田梨花(名城大2)	10000m 優勝
小林紗矢香(愛知教育大4)	100mH 5位
藤原 涼花(至学館大4)	100mH 8位
橋 あぐり(中部学院大1)	10000mW 優勝
園田世玲奈(中京大4)	10000mW 2位
矢来 舞香(中京大2)	10000mW 4位
深水 梨保(至学館大4)	10000mW 5位
糟谷 友里(中京大2)	三段跳 3位
南部 琉璃(中京大2)	棒高跳 5位
大久保祥子(中京大4)	ハンマー投 3位
藤本 咲良(中京大2)	ハンマー投 5位
瀧川 寛子(中京大院2)	やり投 5位

(黒須 雅弘)

実業団

トラックシーズンを終えて

実業団の2018年度トラック&フィールドが終了しました。日本選手権、日本実業団、アジア大会が大きな大会だったと思います。

その中で、棒高跳の山本聖途選手(トヨタ自動車)がすべての大会で優勝し、安定した力を発揮してくれました。

円盤投の湯上鋼輝選手(トヨタ自動車)は、日本選手権

で日本新、全日本実業団も勝ち2冠を達成しましたが、アジア大会では57m62と自己記録に遠く及ばず6位と、悔しい結果に終わりました。また、20km競歩出場の社会人1年目の山西利和選手(愛知製鋼)が銀メダルを獲得し、社会人としてのすばらしいスタートを切れたと思います。



アジア大会 20Km 競歩
銀メダル 山西選手

女子においては、全日本実業団1500m出場のアン・カリンジ選手(豊田自動織機)が大会3連覇を達成いたしました。



全日本実業団 1500m
3連覇のアン選手

2020年の東京オリンピックに向け、実業団主体でも強化をしています。マラソンにおける日本新には、日本実業団連合より1億円、男子は6分台で、女子は22分以内で1000万円の報奨制度を設け、選手のモチベーションアップを図っています。そんな中、大迫選手が2時間5分50秒の日本新を樹立し、見事報奨金1億円を獲得しました。愛知県からも、すばらしい選手が出てきてもらいたいと期待しています。

今後は、駅伝・マラソンシーズンに入ります。11月のクイーンズ駅伝での豊田自動織機の選手の走りに注目です。男子は、ニューイヤー駅伝でのトヨタ自動車の王座奪回をはじめ、愛知製鋼、トヨタ紡織、愛三工業、トーエネック等の入賞を期待します。(中村 博之)

OB・OG会

昨年、参加いただいた皆さんから好評でした古典芸能鑑賞を、今年度も11月8日名古屋市中区の大須演芸場で行ないました。鑑賞前には大須商店街の老舗うなぎ屋でまずは腹ごしらえ、店の2階席は会員36名で満席状態。商店街の散策も早々に演芸場へ向かいました。終演の夕刻まで楽しい秋のひと時を会員皆さんと過ごすことができました。



大須演芸場の前にて

年明けの1月には知多地区で新春懇親会を計画しております。皆さんのご参加をお願いします。

また、新規入会も随時受け付けておりますので、下記世話人までお問い合わせください。男性60歳、女性50歳以上で70歳未満の方です。

世話人

名古屋地区: 佐野昭二 小川真一郎 水野 久

尾張地区: 小島末広 杉山裕二

西三河地区: 竹川正彦 石田美知枝

東三河地区: 加藤春雄 鈴木 覚

(水野 久)

競技会報告

2018 愛知陸上競技選手権大会
兼第61回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第73回国民体育大会選手選考競技会
2018年7月14日(土)・15日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子

(GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	高橋 周治 10.66 愛知医大	若杉 俊佑 10.84 中京大	本郷 汰樹 10.87 立命館大
200m	村瀬 翔太 20.79 GR 法政大学	木村 颯 21.12 愛知教育大	伊里 洋海 21.14 関西学院大
400m	村木 涉真 47.31 早稲田大	祖父江 巧 48.01 中京大	吉津 拓歩 48.28 東洋大
800m	鹿居 二郎 1.50.57 亜細亜大	鳥居 風樹 1.50.74 中京大中京高	嶋津 航 1.54.27 名学院ク
1500m	柳本 匡哉 3.53.01 豊川高	森木 優摩 3.53.38 亜細亜大	馬場勇一郎 3.54.64 中京大中京高
110mH (1.067m)	山本 健太 14.43 中京大	高野 克哉 14.74 トヨタ自動車	真野悠太郎 14.79 名古屋大
400mH (0.914m)	真野悠太郎 49.95 名古屋大	伊奈 颯太 51.45 豊川高	大澤 京介 51.55 中京大
3000mSC (0.914m)	松本 康汰 9.07.66 愛知高	岡内 雅矢 9.07.75 中京大中京高	鈴木竜太郎 9.17.13 豊川高
5000mW	持田 顕人 21.02.67 同志社大	鈴木 智大 21.20.33 名古屋大	戸松 弘成 21.33.69 ACスカイ
走高跳	水谷 来 2.17 中京大	道脇 大斗 2.14 OBUエニスポ	後藤 昂 2.05 新潟大
棒高跳	榊原 圭悟 5.10 岡崎城西	5.00 榎 将太 中京大 小木曾 光 中京大	
走幅跳	中野 裕仁 7.54 名城大附高	南 晋太郎 7.52 中京大クラブ	磯部晃太郎 7.40 都留文科大
三段跳	加藤 準也 15.17 法政大学	木村 友紀 14.74 愛知陸協	伊藤 裕也 14.61 名古屋大
砲丸投 (7.260kg)	石井 健史 15.03 三菱重工名古屋	白藤 聖陽 14.81 日本大	山崎 優太 14.29 至学館大
円盤投 (2.000kg)	湯上 剛輝 57.26 GR トヨタ自動車	戸澤 廣哉 45.47 中京大	白田 雅治 44.20 岡山大
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙 67.98 小林クリエイト	古旗 崇裕 64.18 中京大	石田 考正 56.90 愛陸 DC
やり投 (0.800kg)	豊田 将司 77.52 GR 東海学園大	八木 一憲 72.23 みかん山	藤垣 諒 70.18 至学館大

最優秀選手 湯上 剛輝 (トヨタ自動車)

女子

種目	1位	2位	3位
100m	高須 鮎香 12.21 中京大中京高	松本 扶弥 12.30 愛知教育大	井戸アビゲイル風果 12.40 至学館高
200m	松本 扶弥 24.54 愛知教育大	澤井 萌奈 24.84 山梨学院大	井戸アビゲイル風果 24.86 至学館高
400m	片山 栞里 55.44 甲南大	山田真梨子 56.83 中京大中京高	長屋 美月 57.61 中京大
800m	細井 衿菜 2.10.00 中京大中京高	相場 里咲 2.10.86 豊橋南高	吉川 侑希 2.12.93 愛知教育大
1500m	藤中 佑美 4.23.20 光ヶ丘女子高	山本 有真 4.23.73 光ヶ丘女子高	豊永 香音 4.34.42 中京大
100mH (0.838m)	小林紗矢香 13.84 愛知教育大	安達 楓恋 13.91 中京大中京高	藤原 涼花 13.92 至学館大
400mH (0.762m)	長屋 美月 59.32 中京大	北野 有紀 1.00.07 愛知教育大	佐竹 里野 1.00.63 明和高
3000mSC (0.762m)	後藤 梨奈 10.49.64 中京大	北本可奈子 10.58.66 早稲田大	小林 未来 11.00.66 安城学園高
5000mW	深水 梨保 24.56.00 至学館大	上森 佳代 25.11.00 桜花学園高	岩田 奈央 25.36.21 同志社大
走高跳	中西 美早 1.77 日女体大	小笠原早矢楓 1.71 安城学園高	松井 紗希 1.71 筑波大
棒高跳	塩崎 泉 3.70 至学館高	水上 真里 3.60 中央大	所 杏子 3.60 中京大
走幅跳	明星 光 5.88 中京大	中尾 優里 5.72 小島プレス	高橋 好波 5.60 三好高
三段跳	糟谷 友里 12.31 中京大	平松 紗季 11.92 中京大中京高	加藤 綾菜 11.86 椋山女学園大
砲丸投 (4.000kg)	近藤 沙南 12.32 中京大	平岩 志萌 11.77 旭野高	中島 彩瑛 11.74 中京大中京高
円盤投 (1.000kg)	川口 紅音 44.36 日体大	近藤 沙南 40.86 中京大	平野 優花 40.52 日体大
ハンマー投 (4.000kg)	大久保祥子 55.98 中京大	平野 葉菜 51.81 中京大	金子 明奈 50.70 流通経済大
やり投 (0.600kg)	石本 瞳 48.59 中京大	森 凧紗 48.47 慶應義塾大	中内 真悠 42.93 大体大

最優秀選手 中西 美早 (日女体大)

第64回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
兼第45回全日本中学校陸上競技選手権大会愛知県予選会
兼第73回国民体育大会選手選考競技会(少年B・共通)
2018年7月21日(土)・22日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子

(GR:大会新 HK:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	中山二千翔 12.23 東浦北部	向井 悠汰 12.25 安城南	上田 真秀 12.27 東海
1年 100m(2)	天野 友貴 12.43 志賀	戸田 源大 12.44 東浦北部	近藤 宙 12.44 乙川
1年 100m(3)	川端 一弘 12.76 東海	脇坂 泰地 12.80 弥富	鈴木 琉斗 12.82 本郷
2年 100m	浅井 駿輝 11.58 神の倉	伊藤 大翔 11.61 扇台	池田 駿大 11.63 春日井中部

2年 100m(2)	羽田野太智 11.90 小坂井	高倉 昂生 11.94 竜海	岡副 周平 11.97 古知野
2年 100m(3)	小島 拓真 11.89 扇台	萩田 楓斗 11.92 知多八幡	橋本 結友 11.93 豊橋東陵
3年 100m	山下 侑牙 11.33 竜海	田原 慧人 11.35 六ツ美	奥村 雄也 11.45 大府西
3年 100m(2)	稲澤 柊哉 11.30 上郷	鈴木 空也 11.48 六ツ美	児玉 紘汰 11.51 三川
3年 100m(3)	羽山 史恩 11.54 武豊	吉田 和輝 11.55 豊橋東部	11.60 青井 優太 栄 鈴木 陸斗 高蔵寺
200m	奥村 雄也 22.66 HK 大府西	桂木 大和 22.90 守山西	加藤 健斗 22.91 古知野
200m(2)	木嶋 大翔 23.08 豊川金屋	山口 晴生 23.13 浄水	鈴木 陸斗 23.17 高蔵寺
200m(3)	江口 大陸 23.16 守山西	二宮 瑠哉 23.23 弥富	水上 忠信 23.44 北陵
400m	小川 大輝 51.32 HK 石巻	伊藤 圭吾 51.56 HK 矢作	上村 勇輝 51.81 上社
400m(2)	山口 巧登 52.54 豊川南部	桐山誠二郎 52.70 御幸山	山口 昌也 52.74 神丘
800m	藤井 智己 2.02.02 吉良	渡辺 大星 2.03.50 豊橋南稜	青山 崇 2.03.82 猪高
800m(2)	今泉 裕貴 2.01.39 豊川南部	太田 悠斗 2.03.18 岡崎南	大元 蓮斗 2.04.75 朝日丘
1年 1500m	仲井 蓮人 4.29.15 羽田	林 大雅 4.29.82 上野	杉田 晃大 4.39.48 竜海
1500m	吉居 駿恭 4.01.26 HK 田原東部	小倉 謙心 4.01.93 HK 豊橋南陽	鈴木 将矢 4.09.06 逢妻
3000m	吉居 駿恭 8.53.00 HK 田原東部	鈴木 将矢 8.54.57 HK 逢妻	松井 寛翔 9.04.23 逢妻
110mH (0.914m)	高橋 遼将 14.33 GR HK 柏原	佐川 博也 14.95 HK 六ツ美北	田原 佳悟 15.05 名古屋東陵
110mH(2) (0.914m)	小幡 岳人 15.36 守山	澤田 憲佑 15.81 鎌倉台	宮園 優妃 15.89 五並
110mH(3) (0.914m)	高橋 龍 15.94 安城南	高橋 隼人 16.31 藤森	林田 拳 16.54 吉根
4×100mR	扇台 43.30 GR 稲垣 良行 伊藤 大翔 安田 零唯 西垣	浄水 43.70 大浦 丞 近藤 壮真 佐藤 涉真 山口 晴生	武豊 44.30 津山 瞬佑 岩月 拓大 久米 晃史 羽山 史恩
走高跳	田中 鉄馬 1.88 HK 城北	今井 駿 1.88 HK 古知野	1.79 早川 幸希 安城北 影山 敬祐 守山
棒高跳	下嶋 結月 3.80 羽田	中島 颯太 3.80 守山	谷口 柊斗 3.80 猿投
走幅跳	中島 海翔 6.60 HK 大府西	加藤 隼輝 6.53 長久手北	田中 瑛一 6.35 田原
砲丸投 (5.000kg)	米澤 拓真 12.41 瀬戸南山	半田 千空 12.38 守山西	大沼 弘人 12.24 高蔵寺

四種競技	栗原 佑磨 2599 HK 高蔵寺	樋口 宗頼 2538 HK 守山東	河登 新太 2466 柏原
------	----------------------	----------------------	------------------

走幅跳	柴田 菜那 5.37 岩倉南部	松村 琴都 5.24 南城	山本 紫乃 5.20 猪高
砲丸投 (2.721kg)	辻 萌々子 12.75 HK 御幸山	小原 恵 12.63 HK 大高	平岩 万実 11.38 守山
四種競技	高嵩 桃花 2772 HK 柏原	田島七里香 2588 千種台	坂井 寿々 2536 甚目寺

女子 (PJH: 県中新 GR: 大会新 HK: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	林 美希 12.55 翔南	片山 心菜 12.84 城北	嶋 結菜 12.85 高豊
1年 100m(2)	菅沼 梨瑚 13.19 豊橋東部	伊藤 千夏 13.20 田原	中澤 愛菜 13.39 弥富北
1年 100m(3)	熊谷 実華 13.59 豊川金屋	河田 梓沙 13.72 名南	小池 美結 13.73 尾西二
2年 100m	中野 知咲 12.90 東栄	松浦 涼実 12.97 守山東	中島 明香 13.06 扇台
2年 100m(2)	水軒 沙綾 13.29 守山西	加藤 由華 13.31 吉良	永易 玲奈 13.32 六ツ美北
2年 100m(3)	豊島 朱果 13.27 鎌倉台	井貝 華央 13.28 祖父江	山口祐妃乃 13.31 神丘
3年 100m	大矢 琴子 12.24 HK 春日井中部	倉橋 美穂 12.26 HK 上郷	沖 美月 12.40 HK 上郷
3年 100m(2)	新垣 舞桜 12.75 豊川東部	小幡 胡実 12.82 日進西	松本佳音彩 12.85 上社
3年 100m(3)	手島 美咲 13.04 竜海	種田 琴巴 13.21 振甫	磯貝 芽於 13.22 鶴城
200m	大矢 琴子 25.13 HK 春日井中部	倉橋 美穂 25.27 HK 上郷	沖 美月 25.37 HK 上郷
200m(2)	土居 心愛 25.62 竜海	政野 志歩 26.04 守山	土居 幸愛 26.22 竜海
200m(3)	久野 香奈 26.86 上郷	石川 碧 26.95 甲山	松浦 涼実 27.00 守山東
800m	青山 理奈 2.15.94 HK 御幸山	山下美智乃 2.18.44 長良	澤田 理紗 2.19.82 阿久比
800m(2)	北村 はる 2.20.49 野間	室町 望乃 2.22.89 千秋	壁谷 衿奈 2.23.16 竜海
1500m	阪井 空 4.38.80 水無瀬	林 愛望 4.41.46 鶴城	林 那優 4.42.84 一宮
100mH (0.762m)	松本佳音彩 13.89 PJH GR HK 上社	新垣 舞桜 14.27 HK 豊川東部	坂口 由花 14.37 HK 尾張旭西
100mH(2) (0.762m)	齋藤 未来 14.79 HK 矢作	神田 彩名 14.81 千種台	坂井 寿々 14.83 甚目寺
100mH(3) (0.762m)	村松 芽依 15.60 大治	本多 柚稀 15.62 平坂	加藤 桜空 15.70 竜南
4×100mR	上郷 48.02 PJH GR 曾我 日葵 久野 香奈 沖 美月 倉橋 美穂	御幸山 49.32 松本 愛由 須崎 心優 嶋田 百那 青山 理奈	竜海 49.76 高見 英里 土居 心愛 手島 美咲 土居 幸愛
走高跳	栗田 唯衣 1.60 HK 豊川東部	鈴木 菜美 1.57 六ツ美北	野村 美咲 1.57 福岡
棒高跳 (オープン)	浅井日向子 2.80 東浦北部	2.70 渡邊 万巴 守山 磯貝 芽於 鶴城	

第72回愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会
2018年7月30日(月)・31日(火) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (HK: 標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	柳瀬 功貴 12.41 末野原	近藤 宙 12.55 乙川	中山二千翔 12.58 東浦北部
1年 100m(2)	山本 雄斗 12.69 旭	大場 万央 12.76 豊橋北部	小澤 直生 12.78 名古屋
2年 100m	香山 勇輝 11.57 東郷	伊藤 大翔 11.58 扇台	池田 駿大 11.60 春日井中部
3年 100m	山下 侑牙 11.20 HK 竜海	田原 慧人 11.26 六ツ美	大西 瞭弘 11.35 神の倉
200m	桂木 大和 23.15 守山西	鈴木 一磨 23.17 桜井	加藤 健斗 23.28 古知野
400m	伊藤 圭吾 50.83 HK 矢作	高田圭士郎 51.19 HK 古知野	玉木 裕真 51.63 六ツ美北
400m(2)	桐山誠二郎 52.34 御幸山	酒井 真人 52.61 千種台	河合 燦門 52.99 豊橋南稜
800m	藤井 智己 1.58.76 HK 吉良	高嶋 荘太 1.59.45 HK 弥富	太田 悠斗 2.00.57 岡崎南
800m(2)	山田 彪斗 2.02.56 日進西	板倉 愛翔 2.03.87 朝日丘	大元 蓮斗 2.04.32 朝日丘
1年 1500m	杉田 晃大 4.28.44 竜海	野田 新太 4.29.34 北方	仲井 蓮人 4.31.76 羽田
2年 1500m	平井 翼 4.18.58 尾張旭西	松井 寛翔 4.19.37 逢妻	阿知和優汰 4.19.95 横須賀
3年 1500m	鈴木 将矢 4.08.05 HK 逢妻	加藤 太一 4.09.13 城山	本村 翔太 4.12.73 知多中部
3000m	吉居 駿恭 8.57.50 田原東部	広井 隆寿 8.58.19 守山	吉村 聡介 9.02.25 坂下
110mH (0.914m)	高橋 遼将 14.65 HK 柏原	竹下 空良 15.12 河和	佐川 博也 15.25 六ツ美北
4×100mR	扇台 43.71 HK 稲垣 良行 伊藤 大翔 安田 零唯 西垣 拓音	浄水 43.87 大浦 丞 近藤 壮真 佐藤 涉真 山口 晴生	石巻 43.93 堀田 晴 山本 晟也 小川 大輝 小柳津史也
低学年 4×100mR	古知野 47.19 日比野一翔 古池 功樹 森 啓介 岡副 周平	豊橋南部 47.43 朝倉 拓己 鈴木 優太 坂部 優斗 河合 優飛	守山東 47.52 渡邊 太翼 富田 学将 宮沢 慶一 川口 真
走高跳	田中 鉄馬 1.88 HK 城北	今井 駆 1.85 HK 古知野	影山 敬祐 1.85 HK 守山
棒高跳	布目 悠真 4.00 HK 阿久比	谷口 柊斗 3.80 猿投	加藤 旭敏 3.80 豊川南部
走幅跳	中島 海翔 6.81 HK 大府西	鈴木 空也 6.62 HK 六ツ美	加藤 隼輝 6.57 HK 長久手北

砲丸投 (5.000kg)	半田 千空 13.25 HK 守山西	原 維近 12.70 吉根	磯部 佳孝 12.45 豊橋東部
四種競技 (オープン)	樋口 宗頼 2513 HK 守山東	河登 新太 2470 柏原	浅井 健汰 2082 浅井

女子	御幸山	竜海	上郷
----	-----	----	----

**平成30年度全国高等学校総合体育大会
秩父宮賜杯第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会**
2018年8月2日(木)～8月6日(月) 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場

女子 (PJH：県中新 GR：大会新 HK：標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	田島七里香 12.81 千種台	林 美希 12.91 翔南	片山 心菜 13.07 城北
1年 100m(2)	伊藤 千夏 13.37 田原	石倉 実侑 13.68 田原東部	川口 莉絆 13.69 東山
2年 100m	中野 知咲 12.79 東栄	松浦 涼実 12.82 守山東	中島 明香 12.89 扇台
3年 100m	倉橋 美穂 12.33 HK 上郷	須崎 心優 12.53 HK 御幸山	福本 萌菜 12.55 城山
200m	大矢 琴子 25.41 GR HK 春日井中部	沖 美月 25.61 HK 上郷	飯田 真衣 25.66 HK 大高
1年 800m	森 千莉 2.18.95 浄水	坂田 朋花 2.19.86 平坂	中島 汐菜 2.19.96 原
1年 800m(2)	柴田 桃花 2.27.54 弥富	渡邊 亜実 2.27.82 栄	鈴木 愛菜 2.27.89 六ツ美北
800m	青山 理奈 2.14.19 HK 御幸山	小山 愛結 2.14.40 HK 六ツ美北	萩原 さや 2.16.20 HK 田原東部
800m(2)	小澤 紗央 2.21.24 豊川東部	廣畑 歩美 2.21.38 尾西第一	室町 望乃 2.21.65 千秋
1500m	阪井 空 4.38.67 水無瀬	猪熊 紗伎 4.42.44 春日井中部	丹羽 琴音 4.42.63 尾張旭西
100mH (0.762m/8m)	松本佳音彩 14.33 GR HK 上社	新垣 舞桜 14.80 HK 豊川東部	中西百萌佳 14.84 水無瀬
4×100mR	上郷 47.67 PJH GR HK 曾我 日葵 久野 香奈 沖 美月 倉橋 美穂	竜海 49.44 高見 英里 土居 心愛 手島 美咲 土居 幸愛	御幸山 49.46 松本 愛由 須崎 心優 嵐田 百那 青山 理奈
低学年 4×100mR	田原 51.87 小松 璃野 伊藤 千夏 西尾帆乃花 田中 愛彩	守山西 51.95 加藤 涼音 江口 七海 袁 瞳 水軒 沙綾	城北 52.82 池下 優那 片山 心菜 森山未都樹 竹田 萌菜
走高跳	奥平恵見歩 1.63 HK 豊川東部	野村 美咲 1.60 HK 福岡	吉岡 夏希 1.57 竜海
走幅跳	山本 紫乃 5.46 HK 猪高	伊藤まひろ 5.42 守山西	菅沼 瑠璃 5.31 田原東部
砲丸投 (2.721kg)	日高 千鶴 12.92 HK 一宮北部	辻 萌々子 12.84 HK 御幸山	小原 恵 12.70 HK 大高
四種競技 (オープン)	高寄 桃花 2559 柏原	井並 紗那 2254 港南	高尾 未来 2091 六ツ美

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
800m	3	1.50.86	鳥居 風樹	中京大中京
1500m	4	3.49.22	柳本 匡哉	豊川
	8	3.50.37	中倉 啓敦	愛知
棒高跳	4	4.90	榊原 圭悟	岡崎城西
	7	4.80	増田 智也	中京大中京
走幅跳	3	7.63	中野 裕仁	名城大附
ハンマー投	6	63.50	佐々木秀斗	安城学園
やり投	7	60.79	藤井 瑞樹	名古屋大谷

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
200m	8	24.51	井戸アビゲイル風果	至学館
800m	2	2.08.04	細井 裕菜	中京大中京
	8	2.13.11	相場 里咲	豊橋南
3000m	8	9.18.07	藤中 佑美	光ヶ丘女子
100mH	2	13.64	安達 楓恋	中京大中京
5000mW	8	24.14.09	上森 佳代	桜花学園
4×100mR	6	46.16	大城 珠莉	至学館
			安藤 愛未	
			田中 海来	
			井戸アビゲイル風果	
4×400mR	5	3.46.68	山田真梨子	中京大中京
			生田奈緒子	
			三輪 未来	
			細井 裕菜	
走高跳	2	1.72	小笠原早矢楓	安城学園
棒高跳	3	3.80	塩崎 泉	至学館
三段跳	3	12.34	平松 紗季	中京大中京
やり投	6	46.70	石垣 綾香	半田
七種競技	6	4891	伊藤 桃子	中京大中京

学校対抗総合順位

	1位	2位	3位
男子	古知野	扇台	六ツ美

女子総合：1位 中京大中京 27点

トラック得点：6位 中京大中京 18点

都道府県対抗：2位 50点

第40回東海中学校総合体育大会陸上競技大会
 2018年8月9日(木) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (JT:東海中学新 GR:大会新)

種目	順位	記録	選手名	学校名
1年100m	3	12.05	柳瀬 功貴	末野原
2年100m	2	11.28	香山 勇輝	東郷
3年100m	2	11.04	山下 侑牙	竜海
	3	11.10	田原 慧人	六ツ美
400m	3	51.28	伊藤 圭吾	矢作
800m	2	2.03.29	高嶋 荘太	弥富
1年1500m	2	4.27.28	仲井 蓮人	羽田
3000m	1	9.02.02	吉居 駿恭	田原東部
	2	9.04.37	広井 隆寿	守山
	3	9.04.82	吉村 聡介	坂下
110mH	3	13.96 JT GR	高橋 遼将	柏原
低学年 4×100mR	2	46.49	日比野一翔	古知野
			古池 功樹	
			森 啓介	
			岡副 周平	
4×100mR	3	43.71	稲垣 良行	扇台
			伊藤 大翔	
			安田 零唯	
			西垣 拓音	
走高跳	3	1.85	田中 鉄馬	城北
棒高跳	3	3.90	谷口 柊斗	猿投
走幅跳	1	6.71	加藤 隼輝	長久手北
	3	6.59	中島 海翔	大府西

女子 (JT:東海中学新 GR:大会新)

種目	順位	記録	選手名	学校名
1年100m	3	12.70	林 美希	翔南
3年100m	2	12.18	倉橋 美穂	上郷
200m	2	24.86	大矢 琴子	春日井中部
	3	25.08	沖 美月	上郷
800m	1	2:14.67	青山 理奈	御幸山
	2	2:16.34	小山 愛結	六ツ美北
100mH	1	13.81 JT GR	松本佳音彩	上社
	2	14.32	坂口 由花	尾張旭西
	3	14.33	中西百萌佳	水無瀬
4×100mR	1	48.14 GR	戴下 結乃	上郷
			久野 香奈	
			沖 美月	
			倉橋 美穂	

走高跳	1	1m66	奥平恵見歩	豊川東部
	3	1m60	吉岡 美音	大府北

第53回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
 2018年8月10日(金)~12日(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場

男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	5	伊藤 隼隆	科技刈谷	53.50
800m	3	伊藤 隼隆	科技刈谷	2.01.41
400mH	3	橋本 陸馬	科技刈谷	59.25
3000mSC	2	大曾根魁志	科技刈谷	10.50.38
4×400mR	2	橋本・金子・綾部・伊藤 (科技刈谷)		3.36.87
走高跳	1	清水 源樹	科技刈谷	1.93
	8	石川 丈真	旭陵	1.70
走幅跳	4	角田 侑哉	科技刈谷	6.13
	5	清水 源樹	科技刈谷	6.12
三段跳	4	久保ニコラス	小牧	12.14
円盤投	4	水野 絢世	城北つばさ	29.06
	5	佐藤 大樹	小牧	27.66

女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	1	齋藤 美佳	科技刈谷	12.98
	4	土屋真理奈	名古屋中央・昼	13.88
200m	1	齋藤 美佳	科技刈谷	27.28
	7	土屋真理奈	名古屋中央・昼	29.70
400m	5	濱野 那佳	科技刈谷	1.07.55
800m	3	小林 利江	愛知黎明	2.33.57
	4	濱野 那佳	科技刈谷	2.36.52
	8	尾崎 心花	科技刈谷	2.50.90
3000m	1	小林 利江	愛知黎明	10.55.60
	7	加藤 愛子	豊橋・昼	12.43.31
100mH	6	八田 彩伽	科技刈谷	19.45
4×100mR	2	杉浦・土屋・山田・齋藤 (選抜)		54.67
走幅跳	4	赤川 真白	起工	4.51

男女総合:優勝 126点(4年連続23回目の優勝)

男子総合:4位 59点

男子トラックの部:5位 30点

男子フィールドの部:2位 29点

女子総合:優勝 67点(5年連続19回目の優勝)

女子トラックの部:優勝 62点

女子フィールドの部:12位 5点

女子最優秀選手:齋藤 美佳(科技刈谷)

(100m、200mの2冠達成！)

第45回全日本中学校陸上競技選手権大会
2018年8月19日(日)～21日(火) 岡山県陸上競技場

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
1500m	1	3.59.30	吉居 駿恭	田原東部
3000m	2	8.35.63	吉居 駿恭	田原東部
110mH	5	14.22	高橋 遼将	柏原
走高跳	8	1.90	今井 駆	古知野
四種競技	6	2683	西 徹朗	猪高

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
200m	7	25.43	大矢 琴子	春日井中部
800m	3	2:11.55	青山 理奈	御幸山
100mH	1	13.79	松本佳音彩	上社
4×100mR	1	47.83	曾我 日葵	上郷
			久野 香奈	
			沖 美月	
			倉橋 美穂	
走高跳	2	1.72	奥平恵見歩	豊川東部

第60回東海陸上競技選手権大会

2018年8月25日(土)・26日(日) 草薙総合運動場陸上競技場

男子

(GR：大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
400m	1	祖父江 巧	中京大	47.60
	3	村木 渉真	早稲田大	47.99
800m	2	鳥居 風樹	中京大中京高	1.53.19
1500m	1	馬場勇一郎	中京大中京高	3.55.56
5000m	1	中西 玄気	愛三工業	14.59.34
10000m	1	鈴木 洋平	愛三工業	31.23.55
110mH	2	山本 健太	中京大	13.97
400mH	2	角田 涼一	TNP	51.29
3000mSC	1	大野 雄揮	中央発條	9.15.59
	2	岡内 雅矢	中京大中京高	9.29.04
5000mW	1	戸松 弘成	ACスカイ	21.32.08
	2	鈴木 智大	名古屋大	21.58.53
4×100mR	1	伊藤 弘大	至学館大	40.41
		黒田 玲央		
		佐野 斗和		
		鈴木 航樹		

4×100mR	2	木村 颯	愛知教育大	40.48		
		近藤 佑樹				
		中山 聖				
		天野 知哉				
4×100mR	3	彦坂 陽平	中京大	40.63		
		木下 博貴				
		佐藤 智博				
4×400mR	2	高橋 舞羽	中京大	3.14.83		
		渡邊 駿風				
		岡田 直也				
		祖父江 巧				
4×400mR	3	三ツ石達也	トヨタ自動車	3.14.88		
		木屋川内浩二				
		長谷川 慎				
4×400mR	3	飯田 英夫	トヨタ自動車	3.14.88		
		水谷 来			中京大	2.16
		榎 将太			中京大	5.00
走高跳	1	水谷 来	中京大	2.16		
棒高跳	2	榎 将太	中京大	5.00		
走幅跳	2	南 晋太郎	中京大クラブ	7.57		
砲丸投	1	白藤 聖陽	日本大	14.60		
円盤投	3	白田 雅治	岡山大	43.95		
ハンマー投	2	古旗 崇裕	中京大	66.80		
やり投	1	八木 一憲	みかん山	77.02 GR		
	2	豊田 将司	東海学園大	76.62 GR		
	3	藤垣 諒	至学館大	65.50		

女子

(GR：大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	2	井戸アビゲイル風果	至学館高	11.90
	3	大城 珠莉	至学館高	11.95
200m	1	井戸アビゲイル風果	至学館高	24.59
	3	松本 扶弥	愛知教育大	24.72
800m	1	細井 衿菜	中京大中京高	2.09.96
	2	吉川 侑希	愛知教育大	2.16.11
	3	宇野 佑紀	愛知教育大	2.16.13
1500m	1	豊永 香音	中京大	4.32.56
	2	服部 若菜	愛知黎明高	4.34.14
	3	長野 紗来	安城学園高	4.34.88
5000m	1	服部 若菜	愛知黎明高	17.31.66
	2	小笠原安香音	安城学園高	17.47.39
100mH	1	小林紗矢香	愛知教育大	13.30
	3	伊藤瑠莉彩	中京大	13.63
400mH	1	北野 有紀	愛知教育大	59.12
	3	長屋 美月	中京大	59.84

3000mSC	1	後藤 梨奈	中京大	10.58.47	
	2	小林 未来	安城学園高	11.02.13	
5000mW	1	深水 梨保	至学館大	25.06.08	
	2	上森 佳代	桜花学園高	25.21.37	
4×100mR	1	大城 珠莉	至学館高	46.55 GR	
		安藤 愛未			
		田中 海来			
		井戸アビゲイル風果			
	3	白田菜々美	至学館大		47.74
		加藤 桃佳			
		近藤 七海			
		八木穂乃花			
4×400mR	1	大城 珠莉	至学館高	3.48.15	
		澤 美羽			
		山下なぎさ			
		井戸アビゲイル風果			
	3	山田真梨子	中京大中京高		3.50.68
		中井 彩加			
		山田 晴華			
		細井 鈴菜			
走高跳	2	中西 美早	日本女子体大	1.74	
	3	兼川 乃衣	日本女子体大	1.71	
棒高跳	1	塩崎 泉	至学館高	3.90	
走幅跳	2	中尾 優里	小島プレス	5.83	
	3	明星 光	中京大	5.82	
三段跳	1	糟谷 友里	中京大	12.47	
円盤投	1	川口 紅音	日本体育大	42.86	
	2	平野 優花	日本体育大	41.55	
	3	近藤 沙南	中京大	40.06	
ハンマー投	1	大久保祥子	中京大	53.66	
	3	平野 栞菜	中京大	50.90	

女子 (1位のみ) (GR:大会新)

種目	氏名	所属	記録
4×100mR	椎屋 怜奈	TSM	52.69 GR
	寺島 慶		
	打田 瞳美		
	杉浦 千恵		
走高跳	早麻ライラ	稲沢 AC	1.25
ジャベリックボール投	河合 南菜	JAC あつみ	46.60

**第39回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会愛知選手選考会**
2018年9月1日(土) パロマ瑞穂スタジアム

(クラス:A...中3 B...中2 C...中1 PJR:県中学記録 HK:標準記録突破)

	種目	1位	2位	3位
男子A	100m	山下 侑牙 11.17 竜海	田原 慧人 11.30 六ツ美	鈴木 一磨 11.38 桜井
	200m	西垣 拓音 22.43 扇台	桂木 大和 22.47 TSM	湯浅 幸介 22.81 上郷
	3000m	中村 悠人 9.07.07 赤羽根	広井 隆寿 9.08.16 TSM	田中 登馬 9.08.43 横須賀
	110mJH (0.991m)	小幡 岳人 15.14 TSM	小柳津史也 15.48 石巻	田原 佳悟 15.49 TSM
	走高跳	田中 鉄馬 1.91 HK 城北	影山 敬祐 1.85 守山	今井 駆 1.85 古知野
	砲丸投 (5.000kg)	長嶋 流万 12.61 高蔵寺	半田 千空 12.31 守山西	鈴木 哲生 11.96 大高
男子B	100m	大西 瞭弘 11.43 神の倉	伊藤 大翔 11.49 扇台	稲澤 終哉 11.49 上郷
	1500m	藤井 智己 4.05.85 HK 吉良	吉村 聡介 4.06.84 HK TSM	浅野 龍毅 4.08.57 HK 愛知陸協
	110mYH (0.914m)	加藤 信太 15.52 TSM	宮園 優妃 15.63 五並	澤田 憲佑 15.74 鎌倉台
	走幅跳	田中 瑛一 6.08 田原	林 翼 5.96 長良	深谷 朋生 5.94 旭南
	砲丸投 (4.000kg)	長松 隼汰 13.00 大高	大沼 弘人 12.91 高蔵寺	佐藤 喜嗣 12.25 羽田
	100m	坂井 玲音 12.02 吉根	播摩 拓也 12.09 城山	浅井 伶勇 12.15 知多八幡
男子C	1500m	松井 寛翔 4.12.21 HK 逢妻	植村 龍一 4.23.49 HK 二川	林 大雅 4.24.64 HK 愛知陸協
	100mH (0.838m) (オープン)	横山 将也 15.13 TSM	鈴木 哉汰 15.23 TSM	馬場 悠輔 15.67 宝神
	走幅跳	渡久地 海 5.67 守山東	山坂 隼也 5.66 猪高	古橋 航青 5.57 竜北
	砲丸投 (4.000kg) (オープン)	加藤 大惺 11.18 鎌倉台	兵藤 拓郎 9.35 御幸山	松田 流輝 9.15 福岡

**第35回東海小学生リレー競技大会
兼第4回東海小学生陸上競技大会**
2018年8月25日(土)・26日(日) 草薙総合運動場陸上競技場

男子 (1位のみ) (GR:大会新)

種目	氏名	所属	記録
6年100m	高井 佑太	JAC 武豊	12.41 GR
4×100mR	林天志郎	田原陸上クラブ	52.55
	河邊 一秀		
	西山 悠雅		
	鈴木 琉聖		

男子A B C 共通	棒高跳 (オープン)	中島 颯太 4.00 守山	加藤 旭敏 4.00 豊川南部	谷口 柊斗 3.90 ハイテクAC
	円盤投 (1.500kg)	上村 勇輝 34.63 TSM	小島 諒大 32.18 守山東	石原 龍心 32.14 味美
	ジャベリック スロー	横井 太翔 68.78 牧の池	小河 恒士 56.92 一柳	横山 晨 56.03 新香山
男子B C 共通	走高跳 (オープン)	長谷川 豪 1.80 新川	一色 新太 1.75 豊岡	川口 遙己 1.70 武豊
女子A	100m	福本 萌菜 12.45 城山	中西 楓夏 12.52 TSM	須崎 心優 12.52 御幸山
	200m	飯田 真衣 25.52 大高	筒井 玲奈 26.04 豊橋中部	川澄 千晶 26.20 鶴城
	3000m	阪井 空 9.52.68 水無瀬	猪熊 紗伎 10.03.67 TSM	小山 愛結 10.15.49 六ツ美北
	100m YH (0.762m)	松本佳音彩 13.96 PJR HK TSM	神田 彩名 15.01 TSM	齋藤 未来 15.21 矢作
	走高跳	奥平恵美歩 1.66 HK 豊川東部	野村 美咲 1.54 福岡	吉岡 夏希 1.54 竜海
	砲丸投 (4.000kg)	宮川 萌花 9.81 尾西第三	川崎 稚奈 9.29 豊明	平岩 万実 9.11 守山
女子B	100m	倉橋 美穂 12.29 HK 上郷	沖 美月 12.36 HK 上郷	大矢 琴子 12.39 HK 春日井中部
	1500m	林 那優 4.41.74 一宮	横田 十彩 4.43.82 愛知陸協	棧敷真菜美 4.45.43 六ツ美北
	100mH (0.762m)	高寄 桃花 14.38 HK TSM	中西百萌佳 14.43 HK TSM	坂口 由花 14.47 HK TSM
	走幅跳	菅沼 瑠璃 5.20 田原東部	森田 玲那 4.73 矢作北	富田 遙加 4.69 田原東部
	砲丸投 (2.721kg)	小原 恵 12.20 大高	原田 凜 10.73 守山東	中田 瑠乃 10.69 伊勢山
女子C	100m	田島七里香 12.94 TSM	片山 心菜 13.03 城北	林 美希 13.06 翔南
	800m	森 千莉 2.17.85 HK 浄水	内山 由菜 2.17.89 HK 逢妻	壁谷 鈴奈 2.18.70 竜海
	100mH (0.762m) (オープン)	河合 姫星 16.27 伊良湖岬	村松 優 16.83 平坂	鈴木 美和 17.00 知立南
	走幅跳	松村 琴都 5.39 HK TSM	渡辺実優花 5.09 HK 木曾川	下田 眞琴 4.84 大口
	砲丸投 (2.721kg) (オープン)	山田 真央 10.07 御幸山	佐藤 美海 8.66 岩津	宮脇 美桜 8.55 鶴城
女子A B C 共通	棒高跳 (オープン)	磯貝 芽於 2.70 鶴城	渡邊 万巴 2.50 守山	黒木 日和 2.30 知多
	円盤投 (1.000kg)	伊藤 圭菜 29.15 TSM	杉浦 美海 28.27 TSM	尾崎なつみ 26.10 南城
	ジャベリック スロー	辻 萌々子 48.78 御幸山	堤 陽菜 47.27 東郷 AC	堀田 萌生 45.73 吉田方
女子B C 共通	走高跳 (オープン)	鈴木 菜美 1.45 六ツ美北	矢野 夏希 1.45 章南	1.45 伊藤咲幸花 一宮 春日 凜 TSM

第73回国民体育大会
2018年10月5日(金)～9日(火) 福井県営陸上競技場

成年男子 (入賞のみ GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	4	長田 拓也	富士通	10.90
400mH	8	真野悠太郎	名古屋大	52.08

成年女子

種目	順位	氏名	所属	記録
走高跳	6	中西 美早	日本女子体育大	1.72
棒高跳	7	塩崎 泉	至学館高	3.80
円盤投	8	川口 紅音	日本体育大	44.34

少年男子

種目	順位	氏名	所属	記録
A	400mH	8 伊奈 颯太	豊川高	56.98
	棒高跳	3 榊原 圭悟	岡崎城西高	4.90
	走幅跳	2 中野 裕仁	名城大附高	7.62
	やり投	8 藤井 瑞樹	名古屋大谷高	59.57
B	3000m	8 小林 亮太	豊川高	8.31.30
共通	800m	8 鳥居 風樹	中京大中京高	6.19.43

少年女子

種目	順位	氏名	所属	記録
A	100mH	5 安達 楓恋	中京大中京高	13.64
B	100mH	4 松本佳音彩	上社中	13.80
共通	800m	8 青山 理奈	御幸山中	2.21.11
	三段跳	5 平松 紗季	中京大中京高	12.10
	やり投	8 石垣 綾香	半田高	47.58

男女総合(天皇杯): 17位 (52.5点)

女子総合(皇后杯): 17位 (29.5点)

平成30年度愛知県高等学校定時制通信制秋季陸上競技大会
2018年10月7日(日) 知多運動公園陸上競技場

男子 (GR:大会新) (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	川口 耕平	中央夜	11.6
200m	橋本 陸馬	科技刈谷	23.8
400m	綾部 俊哉	科技刈谷	55.4
800m	伊藤 隼隆	科技刈谷	2.06.2
1500m	山本 空人	科技刈谷	4.48.3
5000m	山本 空人	科技刈谷	17.39.6
400mH	橋本 陸馬	科技刈谷	1.00.5

3000mSC	大曾根魁志	科技刈谷	10.43.2 GR
4×100mR	橋本・清水・金子・植村(科技刈谷)		46.8
4×400mR	橋本・山本・金子・綾部(科技刈谷)		3.48.0
走高跳	清水 源樹	科技刈谷	1.90
走幅跳	清水 源樹	科技刈谷	6.04
三段跳	久保ニコラス	小牧	11.90
砲丸投	水野 絢世	城北	10.40
円盤投	水野 絢世	城北	30.84
総合	科技刈谷		110点

女子

(GR:大会新)(1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	齋藤 美佳	科技刈谷	13.3 GR
200m	齋藤 美佳	科技刈谷	27.3 GR
400m	濱野 那佳	科技刈谷	1.08.4
800m	濱野 那佳	科技刈谷	2.44.6
3000m	杉浦 由依	科技刈谷	13.32.1
100mH	八田 彩伽	科技刈谷	18.5
4×100mR	濱野・尾崎・八田・齋藤(科技刈谷)		57.3
走高跳	長岡 藍	豊橋昼	1.28
走幅跳	赤川 真白	起工	4.25
砲丸投	カリボ ナタリー	中央夜	5.74
円盤投	豊田 晏慈	津島	15.73
総合	科技刈谷		74点

U18 男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	8	浦野 凱瑛	桜丘高	10.79
800m	1	馬場勇一郎	中京大中京高	1.52.90
4×100mR	3	竹内 大和	中京大中京高	40.95
		鈴木 大河		
		神谷 翔矢		
		清水 章吾		
走幅跳	5	梅谷 太紀	名古屋西高	7.37
やり投	3	堤 洸太郎	瑞陵高	63.70

U18 女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
200m	7	村木 未澪	安城学園高	24.90
	8	大城 珠莉	至学館高	24.94
100mH	5	安藤 愛未	至学館高	13.76
4×100mR	3	大城 珠莉	至学館高	47.05
		安藤 愛未		
		田中 海来		
		田村明日香		
棒高跳	5	渡邊 南月	岡崎城西高	3.65
円盤投	3	近藤 未空	安城学園高	40.50
ハンマー投	6	木下 七海	旭野高	46.15
やり投	2	石垣 綾香	半田高	50.13

U20・U18 日本陸上競技選手権大会

2018年10月19日(金)～21日(日)
パロマ瑞穂スタジアム 本県8位入賞のみ

U20 男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
400mH	1	伊奈 颯太	豊川高	50.78
	5	堀 健人	筑波大	52.15
走幅跳	8	中野 裕仁	名城大附高	7.33

U20 女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
800m	3	細井 衿菜	中京大中京高	2.07.07
100mH	8	伊藤瑠莉彩	中京大	14.22
走高跳	1	小笠原早矢楓	安城学園高	1.75
棒高跳	6	水上 真里	中央大	3.50
三段跳	8	平松 紗季	中京大中京高	12.09

招待 4×100mR

(PJH:県中新)

種目	1位	2位	3位
4年生混合	豊橋陸上クラブ 59.57 林 妃愛 花井 咲愛 鳥山 流生 森本 幸希	豊川 AC 1.00.20 久保 結愛 松本 晴佳 今泉 成聖 近藤 颯哉	安城 JAC 1.00.40 相田 清良 田中 咲有 田口 心道 倉地 康介
	安城 JAC 55.01 嶋貫 千滉 神谷 朱里 服部 仁弥 小野 真大	田原陸上クラブ 56.67 藤城 咲 渥美 紅芭 林 天心 巻口 周平	ライル AC 56.89 岡林 凜 三輪 琉姫 松岡 佑真 奥田 真平
6年生男子	豊橋陸上クラブ 52.48 鎌戸 煌大 大武 滉征 杵名 修吾 村松 泰雅	田原陸上クラブ 52.83 林 天志郎 河邊 一秀 西山 悠雅 鈴木 琉聖	安城 JAC 52.98 丹羽 咲弥 平林 駿登 山崎 鉄馬 百崎 蒼太
	田原陸上クラブ 52.15 眞田 あこ 高津 采里 渡辺 葉夏 佐藤 俐有	TSM 53.81 椎屋 怜奈 寺島 慶 水野文由里 打田 瞳美	豊橋陸上クラブ 54.14 辻 柚子奈 齊藤ゆずな 河合 美駒 加藤 愛菜

中学男子	扇台中 43.03 稲垣 良行 伊藤 大翔 小島 拓真 西垣 拓音	上郷中 43.84 稲澤 柊哉 神尾 一輝 岡田 陸玖 湯浅 幸介	浄水中 44.01 大浦 承 近藤 壮真 佐藤 涉真 山口 晴生
中学女子	上郷中 47.65 PJH 曾我 日葵 久野 香奈 沖 美月 倉橋 美穂	鶴城中 50.78 永坂衣舞妃 川澄 千晶 磯貝 茅於 中村 優月	田原東部中 51.51 仲井 千尋 石倉 実侑 川合 美結 菅沼 瑠璃
高校男子	岡崎城西高 42.78 都築 奨一 近藤 工雅 筒井 健人 山越 和輝	名古屋大谷高 42.78 高山 慶樹 吉田壮一郎 林 将大 坂東 泰基	豊橋東高 43.18 千葉 将也 射場 遼太 大蔵 啓太 菅沼 玲央
高校女子	安城学園高 47.60 濱山 瑞希 村木 未澍 森本 みく 中山 愛理	愛工大名電高 49.29 二宮 凜 野中 麻由 高橋こと子 丹羽七奈海	名城大附高 49.70 川端 祐奈 齋藤みゆに 野原めぐみ 西川ひより

棒高跳	安部公士郎 4.40 岡崎城西	藏地 唯斗 4.30 豊田工業高専	加古 輝 4.20 岡崎城西
走幅跳	神谷 翔矢 7.00 中京大中京	梅谷 太紀 6.92 名古屋西	夏目 涼平 6.88 豊丘
三段跳	森澤 翔尉 14.45 中京大中京	神谷 翔矢 13.76 中京大中京	大岩 聖汰 13.73 滝
砲丸投 (6.0kg)	加藤 隆至 13.42 滝	曾根 優太 13.23 春日井工	上床 隆太 13.15 一宮北
円盤投 (1.750kg)	伊藤 蒼真 43.02 中京大中京	曾根 優太 42.80 春日井工	伊藤 光輝 39.14 熱田
ハンマー投 (6.0kg)	岸本 嶺玖 51.00 安城学園	久保 和也 49.28 起工	久米 翔斗 46.09 大府
やり投 (800g)	堤 洸太郎 60.02 瑞陵	大橋 遵藏 52.41 豊橋中央	河邊 大空 51.86 成章
総合	中京大中京 59	瑞陵 36	岡崎城西 33.5
トラック	瑞陵 27	中京大中京 27	愛知 23
フィールド	中京大中京 32	安城学園 24	岡崎城西 15.5

平成30年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会
2018年9月29日(土)～10月2日(火) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR：大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	遠藤 耕介 10.78 刈谷北	梅谷 太紀 10.80 名古屋西	河田 航典 10.90 中京大中京
200m	遠藤 耕介 21.94 刈谷北	大倉 隆雅 22.19 津島	近藤 工雅 22.20 岡崎城西
400m	水谷 冠太 49.60 瑞陵	竹内 彰基 49.67 瑞陵	佐藤 良維 49.86 豊橋工
800m	馬場勇一郎 1.53.28 GR 中京大中京	松本 結叶 1.55.47 愛知黎明	森山 颯 1.55.70 時習館
1500m	中野 倫希 4.04.43 豊川	大岩 歩夢 4.04.95 愛知	柴田 翔太 4.05.07 豊橋南
5000m	岡田 康平 15.00.46 愛知	西村 翔太 15.02.15 千種	浅井 大登 15.03.77 愛知
110mH (1.067m)	岩堀 剛己 14.91 名古屋	小川 晃平 14.98 岡崎北	辻 日向 15.00 岡崎
400mH (0.914m)	水谷 冠太 54.14 瑞陵	土居 駿斗 54.18 津島	新垣 颯斗 54.26 桜丘
3000mSC	有路 翔 9.31.78 高蔵寺	藤原 十夢 9.33.86 名経大高蔵	西村 翔太 9.36.60 千種
5000mW	水口 翔 22.18.97 千種	川嶋 友稀 22.46.47 一宮西	林垣 悠乃 22.52.15 瑞陵
4×100mR	中京大中京 41.56 竹内 大和 鈴木 大河 神谷 翔矢 富田 大智	名古屋 42.38 宇佐美 久 澤 孝輔 富田 泰理 岩堀 剛己	岡崎城西 42.40 都築 奨一 近藤 工雅 小倉 一心 筒井 健人
4×400mR	瑞陵 3.20.97 永田 智也 水谷 冠太 大崎 寛 竹内 彰基	中京大中京 3.21.24 稲川 慧亮 富田 大智 中西 大和 永樹	岡崎城西 3.21.79 高畑 永遠 藤井 裕也 小倉 一心 近藤 工雅
走高跳	宇野琳太郎 2.00 安城学園	市川 拓海 1.97 安城学園	羽根田僚太 1.91 豊田南

女子 (GR：大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	大城 珠莉 12.08 至学館	村木 未澍 12.14 安城学園	濱山 瑞希 12.40 安城学園
200m	村木 未澍 24.92 安城学園	田中 海来 25.17 至学館	平野 瑞季 25.24 一宮
400m	平野 瑞季 56.88 一宮	真鍋 綾菜 57.29 愛知教育大附	川島 実桜 57.85 豊橋南
800m	川島 実桜 2.13.92 豊橋南	小島向日希 2.16.10 中京大中京	兵藤 柚花 2.16.53 岡崎北
1500m	村上 弓月 4.32.77 豊明	服部 若菜 4.33.34 愛知黎明	児玉綺重羅 4.33.48 豊川
3000m	服部 若菜 9.43.62 愛知黎明	村上 弓月 9.45.61 豊明	小林 未来 9.53.62 安城学園
100mH (0.840m)	安藤 愛未 13.85 GR 至学館	西川 知沙 14.33 豊橋南	木村 加乃 14.60 至学館
400mH (0.762m)	真鍋 綾菜 1.02.79 愛知教育大附	前田あすか 1.05.02 名城大附	永野 朱音 1.05.03 西春
5000mW	木村 愛海 25.40.40 名古屋西	丹羽 翔子 25.48.20 一宮西	野間 凜々 26.33.77 瑞陵
4×100mR	安城学園 47.82 濱山 瑞希 村木 未澍 森本 みく 中山 愛理	至学館 48.00 木村 加乃 安藤 愛未 田中 海来 田村明日香	名城大附 48.44 川端 祐奈 齋藤みゆに 伊串 彩夢 西川ひより
4×400mR	中京大中京 3.54.94 中井 彩加 山田 晴華 伊藤 桃子 三輪 未来	至学館 3.55.32 田中 友梨 澤 美羽 山下なぎさ 星川 菜鈴	愛知 3.56.58 嵐 結菜 鹿島菜々子 大岩 愛花 木下 慶乃
走高跳	千葉 玲央 1.64 岡崎城西	渡邊 深友 1.64 岡崎城西	小寺 波音 1.64 安城学園
棒高跳	渡邊 南月 3.70 GR 岡崎城西	浦津なのの 3.30 中京大中京	赤井 千紘 3.30 岡崎城西
走幅跳	山下 李瑚 5.47 渥美農	小船妃那子 5.41 岡崎城西	木村 莉子 5.40 瑞陵

三段跳	吉田 伊吹 11.69 光ヶ丘女子	小寺 波音 11.56 安城学園	山下 李瑚 11.45 渥美農
砲丸投 (4.0kg)	清水菜々子 12.23 中京大中京	中島 彩瑛 11.54 中京大中京	杉山 文美 10.87 安城学園
円盤投 (1.0kg)	天野ユリヤ 35.38 中京大中京	近藤 未空 35.13 安城学園	中島 彩瑛 35.10 中京大中京
ハンマー投 (4.0kg)	平岩 志萌 44.86 旭野	杉山 文美 41.59 安城学園	木下 七海 41.30 旭野
やり投 (600g)	後藤 綾乃 40.92 修文女子	田中 友梨 39.99 至学館	小谷さくら 38.11 向陽
総合	中京大中京 52	安城学園 50	至学館 47
トラック	至学館 35	安城学園 27	中京大中京 22
フィールド	中京大中京 30	岡崎城西 28	安城学園 23

第21回東海高等学校新人陸上競技選手権大会 2018年10月27日(土)・28日(日) 草薙陸上競技場

男子 (GR:大会新) (3位までの入賞)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	1	梅谷 太紀	名古屋西	10.58
	3	浦野 凱瑛	桜丘	10.60
200m	2	遠藤 耕介	刈谷北	21.95
800m	1	馬場勇一郎	中京大中京	1:53.32 GR
	2	永井 翔真	岡崎城西	1:55.30
	3	森山 颯	時習館	1:55.88
1500m	1	大岩 歩夢	愛知	3:59.00
	2	稲山 太郎	千種	4:00.66
5000m	2	岡田 康平	愛知	14:56.90
	3	西村 翔太	千種	15:00.26
110mH	1	小川 晃平	岡崎北	14.70
	3	岩堀 剛己	名古屋	14.78
400mH	1	土居 駿斗	津島	54.02
	3	新垣 颯斗	桜丘	54.68
3000mSC	2	有路 翔	高蔵寺	9:33.55
5000mW	2	水口 翔	千種	22:17.29
	3	吉野 明道	千種	23:14.10
4×100mR	1	河田 航典 富田 大智 鈴木 大河 竹内 大和	中京大中京	40.89 GR
4×400mR	1	竹内 大和 富田 大智 稲川 慧亮 中西 永樹	中京大中京	3:17.54
	3	萩原 拓斗 近藤 工雅 高畑 永遠 小倉 一心	岡崎城西	3:20.42
走高跳	1	宇野琳太郎	安城学園	2.05

走幅跳	3	神谷 翔矢	中京大中京	7.11
三段跳	1	森澤 翔尉	中京大中京	14.91
円盤投	3	伊藤 光輝	熱田	43.40
ハンマー投	3	岸本 嶺玖	安城学園	51.09
やり投	1	堤 洸太郎	瑞陵	59.67

女子

(GR:大会新)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	1	大城 珠莉	至学館	11.84
	2	濱山 瑞希	安城学園	12.05
	3	外園 愛梨	中京大中京	12.08
200m	1	村木 未澪	安城学園	24.82
400m	2	丹羽 優菜	明和	57.62
	3	川島 実桜	豊橋南	57.80
800m	2	川島 実桜	豊橋南	2:15.62
	3	兵藤 柚花	岡崎北	2:15.93
1500m	2	太田 帆香	愛知	4:36.87
	3	兵藤 柚花	岡崎北	4:39.15
3000m	3	安藤 優月	安城学園	9:52.27
100mH	1	安藤 愛未	至学館	13.69 GR
	3	木村 加乃	至学館	14.26
4×100mR	1	濱山 瑞希 村木 未澪 森本 愛理 中山	安城学園	47.23
	2	大城 珠莉 安藤 愛未 田中 海来 田村 明日香	至学館	47.38
4×400mR	1	田中 友梨 澤 美羽 山下 なぎさ 大城 珠莉	至学館	3:52.63
走高跳	1	小寺 波音	安城学園	1.61
	2	上野 真白	名東	1.58
	3	齋藤みゆに	名城大附	1.58
棒高跳	1	渡邊 南月	岡崎城西	3.80 GR
	3	浦津ななの	中京大中京	3.60
走幅跳	3	木村 莉子	瑞陵	5.59
三段跳	2	小寺 波音	安城学園	11.97
円盤投	2	近藤 未空	安城学園	37.91
	3	中嶋日向子	修文女	36.99
ハンマー投	2	木下 七海	旭野	45.40
	3	杉山 文美	安城学園	44.56
やり投	3	田中 友梨	至学館	43.14

平成30年度愛知県高等学校駅伝競走大会
男子第69回・女子第30回全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会
 2018年11月4日(日) 知多運動公園陸上競技場～市道北浜金沢線
 (男子:42.195km・女子:21.0975km)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川	2.05.49	豊川	1.09.34
2	愛知	2.08.07	光ヶ丘女子	1.09.55
3	名経大高蔵	2.09.45	岡崎学園	1.11.38
4	中京大中京	2.11.03	安城学園	1.12.20
5	豊川工	2.11.07	愛知	1.13.17
6	中部大一	2.12.22	千種	1.14.15

男子

区間	氏名	学校名	記録
第1区(10km)	近藤幸太郎	豊川工	29.33
第2区(3km)	岩城亮介	豊川	8.30
第3区(8.1075km)	中倉啓敦	愛知	24.27
第4区(8.0875km)	関口雄大	豊川	24.25
第5区(3km)	小林亮太	豊川	8.22
第6区(5km)	山盛翔大	豊川	15.06
第7区(5km)	大上颯麻	豊川	14.50

女子

区間	氏名	学校名	記録
第1区(6km)	藤中佑美	光ヶ丘女子	19.00
第2区(4.0975km)	山本有真	光ヶ丘女子	13.16
第3区(3km)	森優希	岡崎学園	10.09
第4区(3km)	荻野実夕	豊川	9.44
第5区(5km)	永井美希	豊川	16.23

第32回愛知県小学生陸上競技選手権大会
 2018年10月27日(土) パロマ瑞穂スタジアム

少年 (ER:県小学生記録 GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年50m	丸田 昊 7.56 TSM	達村 竜斗 7.72 十四山体育クラブ	大村 海惺 7.75 なごや陸上
5年100m	水野 賢仁 12.96 GR なごや陸上	小野 真大 13.28 安城 JAC	中島 悠太 13.35 TSM
6年100m	久野 聡 12.41 上郷 JAC	高井 佑太 12.49 JAC 武豊	菊本 成連 12.60 豊川 AC
5年80mH	高島 悠生 12.79 ER GR TSM	末吉 涉真 13.37 成岩 SC 陸上	藤田 唯央 13.51 TSM 岡崎
6年80mH	濱田 修伍 12.44 TSM	三井 隆正 12.76 TSM	鈴木琥太郎 12.83 TSM
6年4×100mR	豊橋陸上 A 51.91 鎌戸 煌大 大武 泥征 沓名 修吾 村松 泰雅	安城 JAC A 52.14 丹羽 咲弥 平林 駿登 近藤 淳貴 百崎 蒼太	TSM A 52.14 上島 芳滋 鈴木琥太郎 三井 隆正 濱田 修伍

5年走高跳	坂井 大一 1.31 TSM	渡邊耕太郎 1.20 東浦 AC	鋤柄 佑真 1.20 JAC 武豊
6年走高跳	佐々木 哲 1.35 TSM	嶋谷 公希 1.30 田原陸上	有本 光希 1.30 布袋陸上クラブ
4年走幅跳	木村 晴 3.87 JAC 武豊	深津 輝瀧 3.87 JAC 武豊	服部 天斗 3.58 Spirits
5年走幅跳	柏崎 祐毅 4.53 作野 AC	土江 亮輔 4.39 OBU エニスポ	足立 拓都 4.18 TSM 岡崎
6年走幅跳	村林 航輔 5.11 JAC 武豊	椋山 泰輔 4.89 ハイテク AC	中野 彰人 4.66 JAC 武豊
4年ジャバリックボール投	祖父江結人 40.82 TSM	星野 陸 39.95 OBU エニスポ	早麻 空輔 36.21 稲沢 AC
5年ジャバリックボール投	猪熊 凌撰 53.37 GR TSM	加藤 亮 44.99 大須 AC	山本 健太 42.99 作野 AC
6年ジャバリックボール投	廣瀬 行成 52.28 いっしき陸上	谷口 大弥 49.70 ライル AC	北岡 知也 49.15 たかはま陸上
6年二種混合A	平林 駿登 1257 安城 JAC	田中 俊介 1232 大須 AC	渡辺 李生 1092 へきなん陸上
6年二種混合B	村松 泰雅 1435 豊橋陸上	宮本 恭伍 1272 AC 一宮 K	山崎 鉄馬 1238 安城 JAC

少女 (ER:県小学生記録 GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年50m	高崎 生愛 7.70 稲沢 AC	田中 咲有 7.83 安城 JAC	林 妃愛 7.85 豊橋陸上
5年100m	神谷 朱里 13.61 安城 JAC	三輪 琉姫 13.93 トライル AC	石川 櫻花 13.99 豊橋陸上
6年100m	佐藤 俐有 12.68 GR ER 田原陸上	高津 采里 13.21 田原陸上	宮田 愛結 13.33 日進 RCJ
5年80mH	村田 愛奈 13.31 TSM	井坂 優里 13.71 TSM	正壽 彩桜 14.16 TSM
6年80mH	杉藤 葵 12.25 AC 一宮 K	野村 美結 12.34 TSM	打田 瞳美 12.46 TSM
6年4×100mR	田原陸上 A 51.19 GR 眞田 あこ 高津 采里 渡辺 栞夏 佐藤 俐有	TSM A 53.35 椎屋 怜奈 寺島 慶 水野文由里 打田 瞳美	豊橋陸上 A 53.92 辻 柚子奈 斉藤ゆずな 河合 美駒 加藤 愛菜
5年走高跳	天野レイナ 1.25 TSM	石倉 苺奈 1.15 JAC あつみ	1.10 近藤 優奈 豊川 AC 渡辺 星奈 へきなん陸上
5年走高跳	野畑 那月 1.35 TFC 半田	高橋 美羽 1.30 OBU エニスポ	大岡 愛佳 1.30 作野 AC
4年走幅跳	蛭川 真奈 4.00 成岩 SC 陸上	犬飼 心彩 3.77 JAC 武豊	石原 礼奈 3.56 豊川 AC
5年走幅跳	青木 唯 4.39 JAC 武豊	堀 和月 4.37 豊川 AC	加藤 蒼乃 4.17 JAC 武豊
6年走幅跳	新井沙也加 4.61 なごや陸上	三浦 蜜華 4.47 JAC 武豊	岸本 侑里 4.37 TSM
4年ジャバリックボール投	山本 星姫 35.52 TSM 岡崎	夏目 純佳 34.07 TSM 岡崎	伊藤 千紗 29.93 JAC 武豊
5年ジャバリックボール投	伊藤 優亜 46.51 愛知つばさ TCA	下山 玲乃 41.99 布袋陸上クラブ	加藤 里奈 38.34 知立ジュニア
6年ジャバリックボール投	河合 南菜 43.32 JAC あつみ	中村 文香 42.54 TSM	松原 愛実 42.25 TSM 岡崎

6年 二種混合A	石田 彩桜 1442 TSM	高橋香里奈 1435 蒲郡クラブ	青木紅来々 1378 なごや陸上
6年 二種混合B	椎屋 怜奈 1717 TSM	水野文由里 1649 TSM	川合 佐和 1539 田原陸上

- ④第44回全日本中学校陸上競技選手権大会出場者について
- ⑤各専門委員会報告
- ⑥その他

(水野 隆夫)

男女混合 (ER: 県小学生記録 GR: 大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年 4×100mR	豊橋陸上 A 58.71 林 妃愛 花井 咲愛 鳥山 流生 森本 幸希	安城 JAC A 58.84 相田 清良 田中 咲有 石川 蒼唯 倉地 康介	豊川 AC58.98 久保 結愛 松本 晴佳 今泉 成聖 近藤 颯哉
5年 4×100mR	安城 JAC A 53.47 ER GR 山岸 未來 神谷 朱里 服部 仁弥 小野 真大	安城 JAC B 55.41 山本 遥 酒井日菜子 久野 永遠 岡本紘太郎	TSM A 55.50 天野レイナ 岡 郁菜 中島 悠太 高島 悠生

栄章

おめでとうございます

平成30年10月5日(金)～9日(火)第74回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」の会場「9.98スタジアム: 福井県営陸上競技場(福井市)」において、日本陸上競技連盟より、次に挙げる皆様が栄章を授与されました。心よりお祝い申し上げます。



- (秩父宮章) 日本陸連・加盟団体への功労者
稲垣 隆司(愛知陸上競技協会会長)
新見 精三(年史資料・広報委員長)
- (高校優秀指導者章) 高校生指導者としての功労者
宇野 雅昭(岡崎城西高等学校)
- (中学優秀指導者章) 中学生指導者としての功労者
横内 隆之(羽田中学校)

(水野 隆夫)

第67回愛知県中学校駅伝大会

2018年11月17日(土) 新城総合公園

女子成績

優勝 矢作中 42.24
(磯部早良・竹田実紗・藤田栗野・渡邊柚那・杉浦花音)

区間賞	1区	阪井 空(水無瀬)	10.17
	2区	竹田 実紗(矢作)	7.07
	3区	鈴村 愛菜(六美北)	7.11
	4区	小山 心結(六美北)	7.11
	5区	杉浦 花音(矢作)	10.17

男子成績

優勝 竜海 58.17
(伊藤稔基・渡辺響介・西野 成・十河拓平・松浦志龍・山口浩崇)

区間賞	1区	マッキーア人(豊明)	9.22
	2区	松井 寛翔(逢妻)	9.10
	3区	都築 龍彌(豊川東部)	9.25
	4区	谷村 恒晟(上郷)	9.33
	5区	吉居 駿恭(田原東部)	8.49 区間新
	6区	鈴木 大輔(田原東部)	9.30

おくやみ
長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)
逝去者氏名 逝去年月 支部名
本田 陽 30・10 西三河

編集後記

◇名古屋開催最後のU20・U18が終わり、トラックから駅伝・ロードレースのシーズンとなった。◇東京オリンピック後の、2026アジア大会へ向けて動き始めた。◇スポーツ文化としての陸上競技の発展を支えていく気概で努力したい。◇寄稿者に感謝。

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直
茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二
山下ゆかり

理事会等会議報告

○8月理事会 30年8月10日(金) 18:00 愛知県教育会館

1 協議事項

- ①第73回国民体育大会愛知県代表選手団(役員・選手)の選考について
- ②その他

2 報告事項

- ①国体代表選手の強化合宿について
- ②マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2019について
- ③全国高校陸上競技大会の成績について